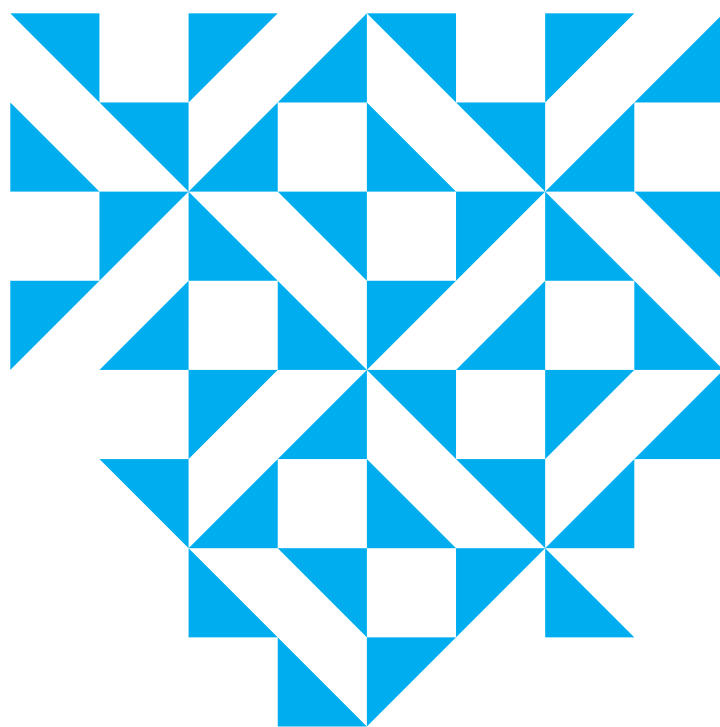


2016

平成28年度

入学者選抜 に関する要項



広島大学

広島大学は、挑戦する意欲を持ち、行動を起こす人材を育てます。

目 次

インターネット出願の拡充について ほか	1
広島大学のアドミッション・ポリシー	2
広島大学の入学者選抜について	
広島大学入学者選抜の特色	3
一般入試	3
A〇入試	3
平成28年度入学者選抜関係日程について	4
募集人員	5
一般入試【前期日程】・【後期日程】に関する注意事項等（全学部共通）	
選抜方式	6
出願資格	6
学部別の出願上の注意事項	7
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談	7
試験場案内	8
入学者選抜方法等	9
実施教科・科目等に関する注意事項	9
入学者選抜の実施教科・科目及び配点等	11
総合科学部	12
文学部	13
教育学部	14
法学部	21
経済学部	22
理学部	23
医学部	25
歯学部	28
薬学部	30
工学部	31
生物生産学部	34
A〇入試日程（総合評価方式）	35
A〇入試日程（対象別評価方式）（フェニックス方式）	36
私費外国人留学生入試日程	36
医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」	37
学部・学科等のアドミッション・ポリシー	38
広島大学位置図	59
広島大学の情報をより詳しく調べたい方へ	60・裏表紙裏面
学部等照会先	裏表紙

※ この「平成28年度入学者選抜に関する要項」は、各入試の概要について掲載しています。
各入試内容の詳細及び出願書類については、それぞれの募集要項を参照してください。

インターネット出願の拡充について



広島大学では、学部 1 年次入学を対象とした入試でインターネット出願を実施しています。推薦入試(医学部医学科ふるさと枠)及び私費外国人留学生入試は紙媒体の学生募集要項(願書)による出願方法を廃止し、インターネット出願のみとなります。出願の詳細は、各学生募集要項を参照してください。

インターネットを利用した出願形式はアメリカ、イギリス、中国、韓国などで実施されており、日本国内においても今後ますます普及していくものと考えています。

インターネット出願のメリット

- 1 学生募集要項(願書)の取寄せが不要になり、24 時間出願可能に
…出願にかかる時間的、金銭的な負担を軽減
- 2 クレジットカードやコンビニエンスストアで検定料の支払いが可能に
…金融機関窓口での支払いによる時間的な制約を解消
- 3 出願書類の作成がより簡単に
…システムによるチェック機能でミスや記入漏れを防止

教育学部第一類(学校教育系)の入学定員の変更について(予告)

教育学部第一類(学校教育系)では、入学定員の変更について、文部科学省へ手続を行う予定です。下表の入学定員、募集人員は、すべて予定です。

なお、確定次第、改めて入学定員、募集人員の変更について本学ホームページにより公表しますので、必ず確認してください。

変更前

学部	学科	選 抜 方 法	入 学 定 員	募 集 人 員		
				全 体	初等教育 教員養成 コース	特別支援 教育教員 養成コース
教育学部	第一類 (学校教育系)	一般入試(前期日程)	180	132	(112)	(20)
		一般入試(後期日程)		31	(28)	(3)
		AO 入試(総合評価方式Ⅱ型)		17	(10)	(7)

変更後(予定)

学部	学科	選 抜 方 法	入 学 定 員	募 集 人 員		
				全 体	初等教育 教員養成 コース	特別支援 教育教員 養成コース
教育学部	第一類 (学校教育系)	一般入試(前期日程)	160	122	(102)	(20)
		一般入試(後期日程)		21	(18)	(3)
		AO 入試(総合評価方式Ⅱ型)		17	(10)	(7)

※ 教育学部の募集人員は類ごとに定めており、表中の()の数は、各コースの合格予定者数を示します。

平成 28・29 年度入試の変更点について

その他の広島大学の平成 28・29 年度入試の変更点について、本学入試情報のホームページに掲載していますので、必要に応じてご参照ください。

<http://hiroshima-u.jp/nyushi>



広島大学のアドミッション・ポリシー

広島大学は、挑戦する意欲を持ち、行動を起こす人材を育てます。
また、自ら考え、判断し、表現することができる創造性豊かな人材の育成に努めます。

広島大学は、次のような人の入学を期待しています。

- 豊かな心を持ち平和に貢献したいと願う人
- 知の探求・創造・発展に意欲のある人
- 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科等では、それぞれの教育目的・目標に沿ったアドミッション・ポリシーを明示して、個性を尊重する多様な選抜を実施しています。

広島大学は、このようにして受け入れた人たちと共に「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を目指します。

学部・学科等のアドミッション・ポリシーは、38 ページから掲載しています。

広島大学の入学者選抜について

広島大学入学者選抜の特色

広島大学は、11の学部と11の大学院研究科を擁する総合研究大学です。総合研究大学とは、全領域にわたる学部教育の体制が整えられていること、大学院教育が充実していること、優れた研究業績が数多く見られることなど、教育・研究の拠点性を有する大学を指します。本学は、広島大学のアドミッション・ポリシーに掲げるように「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を目指して、各大学院研究科・学部等がそれぞれの領域の教育・研究の充実を図っています。

こうした目標に沿って各学部・学科等では、それぞれの教育目的・目標を踏まえたアドミッション・ポリシーを明示して、個性を尊重する多様な選抜を実施しています。

平成18年度入学者選抜からは「一般入試」と「AO入試」の二つの方式で実施し、個々の入試についてわかりやすく特色のあるものにするよう努めています。

なお、平成21年度入学者選抜から医学部医学科では、国の緊急医師確保対策に基づいて、広島県内及び岡山県内に所在する高校の出身者等を対象とした推薦入試「ふるさと枠」を実施しています。

一般入試	前期日程	
	後期日程	
AO入試	総合評価方式	I型 (大学入試センター試験を課さない入試)
		II型 (大学入試センター試験を課す入試)
		III型 (ゼミナール (授業) への出席を課す入試)
	対象別評価方式	帰国生入試
		社会人入試
フェニックス方式 (中高年者を対象とした入学制度)		
医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」		

一般入試

一般入試は、各学部・学科等が大学教育を行う上で必要となる学力に関連して、主に高等学校等で培われる教科・科目の学力を受験者がどれだけ身につけているか測ろうとするものです。そのため、一般入試はペーパーテスト方式の試験を中心とし、主に大学入試センター試験と個別学力検査等の両方を用いて可否の判定を行います。

なお、募集単位によっては、面接又は実技を実施するところもあります。

一般入試は、前期日程及び後期日程の二つの日程で選抜が行われますが、平成22年度入学者選抜から一部の募集単位において後期日程を実施していない募集単位もありますので、注意してください。

AO入試

本学のAO入試には総合評価方式、対象別評価方式及びフェニックス方式の3方式があります。

総合評価方式は、志望する学科等の学問領域への関心、広島大学で学びたいという意欲、大学で学ぶための必要な学力等を重視して評価するもので、主に小論文又は筆記試験、面接・実技・プレゼンテーション、出願書類、大学入試センター試験（II型のみ）を組み合わせた、きめ細かな選抜を行います。

対象別評価方式は、海外で修学した経験のある人、社会で幅広い経験を積んだ人など、様々なキャリアを持つ人たちに対して学修機会を提供しようとするものです。そのために、出願資格を帰国生及び社会人に限定してそれぞれ募集人員を設け、小論文や面接等を利用して選抜を行います。

フェニックス方式は、中高年者を対象とした入学制度です。生涯のうちの望む時期に大学での学修の機会が得られることは、生涯学習社会において大学に対して期待されることの一つです。本学は、他の国立大学に先駆けて、平成13年度からフェニックス入学制度を実施し、中高年者の大学教育に対するニーズに応えてきました。小論文や面接を利用して選抜を行います。

平成 28 年度入学者選抜関係日程について

	一般入試	
	前期日程	後期日程
大学入試センター試験 試験日	平成 28 年 1 月 16 日(土)・17 日(日)	
一般入試 出願期間	1 月 25 日(月)から 2 月 3 日(水)午後 5 時まで(必着)	
第 1 段階選抜実施の有無 (医学部医学科 【前期日程】のみ)	2 月 5 日(金)までに広島大学ホームページに掲載	
試験日	2 月 25 日(木)・26 日(金) ※ 26 日(金)まで試験を実施する 募集単位は、以下のとおりです。 ○医学部医学科 ○医学部保健学科作業療法学専攻 ○歯学部歯学科 ○歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻 ○歯学部口腔健康科学科口腔工学専攻	3 月 12 日(土)・13 日(日) ※ 13 日(日)まで試験を実施する 募集単位は、歯学部歯学科のみで す。
合格者発表	3 月 7 日(月) 12 時 (予定)	3 月 20 日(日・祝) 12 時 (予定)
入学手続期間	平成 27 年 11 月 27 日(金)までに発表する一般入試学生募集要項又は同年 6 月 12 日(金)までに発表する私費外国人留学生入試学生募集要項により、確認してください。	

AO入試	私費外国人留学生入試(前期日程・後期日程)
(総合評価方式) ・I 型(大学入試センター試験を課さない入試) ・II 型(大学入試センター試験を課す入試) ・III 型(ゼミナール(授業)への出席を課す入試) 日程は 35 ページを参照してください。 (対象別評価方式) ・帰国生入試 ・社会人入試 日程は 36 ページを参照してください。 (フェニックス方式) ・中高年者を対象とした入学制度 日程は 36 ページを参照してください。	日程は 36 ページを参照してください。
	医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」
	日程は 37 ページを参照してください。

募集人員

学部	学科 類(系) コース 専攻	入学 定員	募集人員															
			一般入試		A O 入 試					推薦 入試	私費外国人留学生入試							
			前期日程	後期日程	総合評価方式			対象別 評価方式	フェニックス 方式		前期日程	後期日程						
I 型	II 型	III 型	対 象 別 評 価 方 式	推 薦 入 試	前 期 日 程	後 期 日 程												
総合科学部	総合科学科	130	100	18	12			10	婦国生 若千名	若千名		若千名	若千名					
文学部	人文学科	140	95	20			25		若千名			若千名	若千名					
教育学部	第一類 (学校教育系)	初等教育教員養成コース	180	(112)	(28)			10	1ページの「教育学部第一類(学校教育系)の入学定員の変更について(予告)」を参照してください。		若千名		若千名					
		特別支援教育教員養成コース		31	(3)		7											
	第二類 (科学文化教育系)	自然系コース	88	(17)	(4)		6											
		数理系コース		55	(14)	(3)	5											
		技術・情報系コース			14	(10)	(3)	4								若千名		
		社会系コース				(14)	(4)	4										
	第三類 (言語文化教育系)	国語文化系コース	84	(15)	-	7									若千名			
英語文化系コース		58		(19)	-	8				若千名								
日本語教育系コース				(24)	-	11				若千名								
第四類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系コース	88	(16)	(6)	10				若千名									
	人間生活系コース		51	(16)	(3)	3				若千名								
	音楽文化系コース			14	(14)	(3)	5				若千名							
	造形芸術系コース				(5)	(2)	5											
第五類 (人間形成基礎系)	教育学系コース	55	(20)	(5)	5													
	心理学系コース		(16)	(4)	5													
	計	495	332	68	54	41												
法学部	法学科	昼間コース	140	110	30						若千名	若千名						
		夜間主コース	40	10	5	5		社会人 20	若千名	-	-							
経済学部	経済学科	昼間コース	150	110	25	15	A選抜 13, B選抜 2			若千名	若千名							
		夜間主コース	60	27	8	15		社会人 10	若千名	-	-							
理学部	数学科	47	26	14	7													
	物理科学科	66	36	20	10							若千名						
	化学科	59	39	10	10	化学グランプリ利用含む						若千名						
	生物科学科	34	27	-	7	一般型 5, 科学オリンピック型 2						-						
	地球惑星システム学科	24	15	4	5	日本地学オリンピック利用含む						若千名						
		計	230	143	48	39												
医学部	医学科		120	75	20	5					20		若千名					
		看護学専攻	60	52	-	8	広島県コース 18, 岡山県コース 2						-					
	保健学科	理学療法学専攻	30	27	-	3	一般型・大学院進学型5, 専門型 3						-					
		作業療法学専攻	30	26	-	4	大学院進学型3						-					
		小計	120	105	-	15	大学院進学型4											
	計	240	180	20	20				20									
歯学部	歯学科		53	33	15	5							-					
		口腔保健学専攻	20	15	-	5							-					
	口腔健康科学科	口腔工学専攻	20	12	5	3							若千名					
		小計	40	27	5	8							若千名					
	計	93	60	20	13													
薬学部	薬学科	38	33	-	5							若千名	-					
	薬科学科	22	15	-	7							-						
		計	60	48	-	12												
工学部	第一類 (機械システム工学系)	105	92	8	5								若千名					
	第二類 (電気・電子・システム・情報系)	135	115	15	5								若千名					
	第三類 (化学・バイオ・プロセス系)	115	100	8	7								若千名					
	第四類 (建設・環境系)	135	120	10	5								若千名					
		計	490	427	41	5	17	A型(専門型) 2, B型(研究者養成型) 4, C型(一般型) 9										
生物生産学部	生物生産学科	90	65	10	15				若千名			若千名	若千名					
	総 計	2,358	1,707	313	110	153	25	30	20									

※教育学部の一般入試募集人員は、類ごとに定めており、表中の()の数は、各コースの合格予定者数を示します。

※歯学部歯学科の一般入試(前期日程)の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員若干名を含みます。

(注) A O入試の総合評価方式、対象別評価方式の社会人入試及び医学部医学科推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は、一般入試(前期日程)の募集人員に含めます。

一般入試【前期日程】・【後期日程】に関する注意事項等（全学部共通）

選抜方式

本学は、分離分割方式（「前期日程」及び「後期日程」）により、個別学力検査等を実施します。

国立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

したがって、試験日程グループ間の併願について「前期－前期」、「後期－後期」の併願はできません。

本学は、「前期日程」の学部・学科等と「後期日程」の学部・学科等とは、すべて併願ができます。

なお、「後期日程」を実施しない募集単位もありますので、注意してください。

出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ各学部・学科等が定める平成 28 年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成 28 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
これらの者は、次のとおりです。
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
 - ⑥ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

注 1 大学入試センター試験については、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を受験していなければ出願資格を満たしていないことになり、出願できませんので注意してください。

注 2 上記「出願資格」(3)の⑥に基づく審査を希望する者は、以下の期限までに、入学センター（電話：082-424-6174）に問合せてください。

問合せ期限：平成 27 年 9 月 8 日（火）午後 5 時まで

※平成 28 年 1 月の大学入試センター試験後にも問合せ期限を設けます。

注 3 上記「出願資格」(3)の⑦に基づく個別の入学資格審査を希望する者は、以下の方法及び期間により、手続をしてください。

申請方法：

①本学ホームページ「入学資格の個別審査について」の掲載内容により行ってください。

<http://hiroshima-u.jp/nyushi/gakubu/senbatsu/ippan/kobetsushinsa>

②上記①が困難な場合は、入学センター（電話：082-424-6174）に問合せってください。

申請期間：平成 27 年 9 月 7 日（月）から 9 月 11 日（金）午後 5 時まで（必着）

※平成 28 年 1 月の大学入試センター試験後にも問合せ期限を設けます。

学部別の出願上の注意事項

学部	注 意 事 項
総合科学部	「前期日程」、「後期日程」とも文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。
教育学部	第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース及び特別支援教育教員養成コースの「前期日程」、「後期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。
経済学部	昼間コースの「後期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。
医学部	保健学科の「前期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。

受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は定めません）を志望する学部等照会先（裏表紙参照）に事前に電話連絡した上で提出し、相談してください。

(1) 相談の期限

点字による受験等の特別な準備を必要とする者については、平成28年1月8日（金）までに相談してください。

その他の配慮を必要とする者は、原則として平成28年1月22日（金）までに相談してください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

(2) 申請書の記載内容

	内 容	備 考
①	志願者の氏名，住所，電話番号	
②	出身学校名	
③	志望学部，学科，コース等名	
④	志願予定の試験日程	一般入試「前期日程」及び一般入試「後期日程」の別を記載してください。いずれの日程も志願予定の場合は、二つの日程を併記してください。
⑤	障害等の種類・程度	医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付してください。大学入試センター試験において受験上の配慮を申請した者は、申請時に添付した診断書の写を添付してもかまいません。
⑥	受験上の配慮を希望する事項	大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた者は、その写を添付してください。
⑦	修学上の配慮を希望する事項	
⑧	出身学校でとられていた配慮	
⑨	日常生活の状況	

試験場案内

試験は、「前期日程」、「後期日程」とも、以下のキャンパスで実施予定です。

ただし、志願者数等により試験場を変更することがありますので、平成28年2月8日(月)に本学から発送する「受験案内」(受験票送付の際に同封)により、必ず確認してください。

※ 試験当日は東広島キャンパスのみ臨時バスが運行される予定です(JR山陽本線「西条駅」又は山陽新幹線「東広島駅」と東広島キャンパスの間)。運行スケジュール等は各試験日の1週間前までに本学ホームページのトップページ→「お知らせ」に掲載します。



【(霞)キャンパス各試験場】

住所：広島市南区霞

医学部，歯学部，薬学部

法学部・経済学部の夜間主コースも、
東広島キャンパスで試験を実施します。

【(東広島)キャンパス各試験場】

住所：東広島市鏡山

総合科学部，文学部，教育学部，
法学部（昼間コース・夜間主コース），
経済学部（昼間コース・夜間主コース），
理学部，工学部，生物生産学部

入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査等の結果及び調査書を総合して行います。

(1) 個別学力検査等

大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目並びにこれらの配点については、各学部の【**実施教科・科目及び配点等**】を参照してください。

志望する学部・学科等により受験科目及び配点が異なりますので注意してください。

なお、大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等に関しては、本ページ及び次ページ以降に記載の「**実施教科・科目等に関する注意事項**」により必ず確認してください。

(2) 2段階選抜

医学部医学科前期日程において、志願倍率が10倍を超える場合には、大学入試センター試験の成績（成績は「実施教科・科目等に関する注意事項」（1）と同様の取扱いとする）の合計点（900点満点）により、第1段階の選抜を実施することがあります。第1段階選抜実施の有無については、平成28年2月5日（金）までに広島大学ホームページに掲載します。

また、第1段階選抜合格者には「広島大学入学試験受験票」及び受験案内を、第1段階選抜不合格者には不合格通知書及び入学検定料払戻請求書を、平成28年2月8日（月）に本人あて発送します。

※ 受験票又は不合格通知書等が平成28年2月15日（月）までに到着しない場合は、2月16日（火）以降に、医学部照会先（電話：082-257-5049）へ連絡してください。

なお、医学部医学科後期日程、医学部保健学科前期日程及びその他の学部・学科等においては、「前期日程」、「後期日程」とも2段階選抜は行いません。

(3) 欠員補充

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、「追加合格」による欠員補充を行うことがあります。

また、必要に応じて、「欠員補充第2次募集」により欠員補充を行うこともあります。

実施教科・科目等に関する注意事項

出願書類受付後に、志望する学部・学科等が指定した平成28年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の不足等（**地理歴史・公民及び理科において、2科目を受験した場合、第1解答科目を各学部・学科等が指定した科目の中から選択していなければ、出願無資格となります**）による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。この場合、入学検定料の一部を返還することとなります。出願資格を満たしていないことが判明次第、本人へ通知します。

なお、本学の平成28年度入学者選抜においては、平成27年度以前の大学入試センター試験の成績は利用しません。

また、新教育課程履修者と旧教育課程履修者を以下のとおり定義します。

新教育課程履修者（※）	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者（※）	上記以外の者 * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込みであるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

（※）「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。

(1) 大学入試センター試験について

- ① 大学入試センター試験における英語の得点の取扱いについて
英語において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。
筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者などでリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。
- ② 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の科目を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。
- ③ 数学において、2科目を受験した場合の取扱いについては、受験を要する科目数を1科目と指定している場合、高得点の解答科目を採用します。
- ④ 地理歴史・公民において、2科目を受験した場合の取扱いについては、受験を要する科目数を1科目と指定している場合、第1解答科目の得点を採用しますので、第1解答科目は必ず学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。
- ⑤ 理科において、2科目を受験した場合の取扱いについては、受験を要する科目数を1科目と指定している場合、第1解答科目の得点を採用しますので、第1解答科目は必ず学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。
- ⑥ 理科において、『「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という）から2科目又は「物理、化学、生物、地学」（以下、「基礎を付していない科目」という）から2科目』を選択できる場合の「基礎を付していない科目」の取扱いは、「基礎を付していない科目」2科目の合計点（200点満点）を0.5倍（100点満点）に圧縮したものを理科の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。
なお、利用科目については、各学部の【実施教科・科目及び配点等】により確認してください。
- ⑦ ⑥のほか、歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻における理科の取扱いは、歯学部の【実施教科・科目及び配点等】の備考欄により確認してください。

旧教育課程履修者に対する大学入試センター試験についての経過措置

- ⑧ 平成28年度大学入試センター試験に限り出題される数学の「工業数理基礎」の科目を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者で、旧教育課程履修者に限ります。
本学では、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択可能としている募集単位について、「工業数理基礎」も選択解答できます。

(2) 個別学力検査の出題範囲・出題方法等について

以下の表、各学部の【実施教科・科目及び配点等】及び【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照してください。

なお、平成28年度個別学力検査において、旧教育課程履修者に配慮した出題は行いません。

【前期日程】

教科・科目等		出題範囲・出題方法等
国語		「国語総合(近代以降の文章), 現代文B」又は「国語総合, 現代文B, 古典B」の範囲から出題します。
数学(4科目)		「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B(数列, ベクトル)」の範囲から出題します。
数学(5科目)		「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, ベクトル)」の範囲から出題します。
理科	物理基礎・物理	「物理基礎・物理」(「物理基礎」と「物理」を併せた範囲)から出題します。
	化学基礎・化学	「化学基礎・化学」(「化学基礎」と「化学」を併せた範囲)から出題します。
	生物基礎・生物	「生物基礎・生物」(「生物基礎」と「生物」を併せた範囲)から出題します。
	地学基礎・地学	「地学基礎・地学」(「地学基礎」と「地学」を併せた範囲)から出題します。
外国語		英語は, 「コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ」の範囲から出題します。 ドイツ語, フランス語及び中国語については, 英語に準じます。
その他		各学部の【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照してください。

【後期日程】

各学部の【実施教科・科目及び配点等】及び【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】を参照してください。

入学選抜の実施教科・科目及び配点等

次ページ以降の各学部の記載内容により確認してください。

大学入試センター試験の教科・科目を次のとおり一部略記しています。()内は正式名称です。

教科名	科目名
国(国語)	国(国語)
地歴(地理歴史)	世B(世界史B), 日B(日本史B)
公民	現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済), 倫・政経(倫理, 政治・経済)
数(数学)	数Ⅰ・数A(数学Ⅰ・数学A), 数Ⅱ・数B(数学Ⅱ・数学B), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎)
理(理科)	物基(物理基礎), 化基(化学基礎), 生基(生物基礎), 地学基(地学基礎), 物(物理), 化(化学), 生(生物)
外(外国語)	英(英語), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)

個別学力検査等の教科・科目名を次のとおり一部略記しています。()内は正式名称です。

教科名	科目名
国(国語)	
数(数学)	
理(理科)	
外(外国語)	英語(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語)

総合科学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計	
総合科学部	前期 2月25日	国	国	を1	外	英語, 独, 仏, 中	から1	センター試験	200	200	200	100	200			900
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経		から2	その他	小論文					600	600		1200
		数	数I・数A	を1				計	200	200	200	100	800	600		2100
	後期 3月12日	理	数II・数B, 簿, 情報	から1	外	英語		センター試験	200	200	200	100	200			900
			物基, 化基, 生基, 地学基	から2		その他	面接						600		※	600
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				計	200	200	200	100	800			1500
学理科	前期 2月25日	国	国	を1	数	数学I・数学II・数学III・数学A・数学B(数列, ベクトル)		センター試験	200	100	200	200	200			900
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経		から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	から2	個別学力検査			400	800		
		数	数I・数A	を1					計	200	100	600	1000	200		2100
	後期 3月12日	理	数II・数B, 簿, 情報	から1	数	数学I・数学II・数学III・数学A・数学B(数列, ベクトル)		センター試験	200	100	200	200	200			900
			物, 化, 生, 地学	から2		外	英語		個別学力検査			400		200		600
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1					計	200	100	600	200	400		1500

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。
 3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。
 4 「前期日程」, 「後期日程」とも文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分と異なります。入学後の教育領域の配属にも関係しません。
 5 「前期日程」, 「後期日程」とも文科系で受験した者と理科系で受験した者から募集人員の約半数ずつを合格者とします。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目名等	内 容	評 価	
前期日程	総合科学部	文科系	小論文	論理的な思考力や独創性及び読解力について総合的に判断し, あわせて基本的な文章の表現力や記述力についても加味し, これらを総合的に評価します。	点数化して評価
後期日程	総合科学部	文科系	面接	総合科学部で学ぶことの意義, さらには意欲について確認し, あわせて当面する諸問題に対する各自の問題意識や論理的思考力について問い, その対応の仕方・態度などを踏まえて総合的に評価します。	段階評価

【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	総合科学部	文科系 大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。合格最低点での同点者は合格とします。
		理科系 大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	総合科学部	文科系 大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点に, 面接評価を加味した順位で判定します。面接を重要視します。合格最低順位での同順位者は合格とします。
		理科系 大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。合格最低点での同点者は合格とします。

文学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
人文学科	前期 2月25日	国	国語総合・現代文B・古典B を1	国	国語総合・現代文B・古典B から1	センター試験	200	400	200	100	200		1100
		地歴・公民	世界史B, 日本史B, 地理B, ※現社, 倫, 政経, 倫・政経 から2	外	英語, 独, 仏, 中 から1	個別学力検査	400				400		800
		数	数I・数A を1 数II・数B, 簿, 情報 から1			計	600	400	200	100	600		1900
人文学科	後期 3月12日	理	物理基, 化学基, 生基, 地学基 から2 又は から2	その他	面接	センター試験	200	200	200	100	200		900
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5又は6教科8科目]			個別学力検査						100	100
		計	200			200	200	100	200	100	1000		

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 ※印を付してある公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目名等	内 容	評 価
後期日程	人文学科	面接	勉学に対する意欲・志向について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度を通して総合的に評価します。	点数化して評価

【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	人文学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	人文学科	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

教育学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計				
第一類（学校教育系）	前期 2月25日	文科系	国	国語	を1	国語総合・現代文B・古典B } から2 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル) } から2 英語, 独, 仏, 中 から1 }	センター試験	200	200	200	100	200					900		
			地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2		個別学力検査(注1)	(1)	400		400								800
				数	数Ⅰ・数A			を1	(2)	400				400					
					数Ⅱ・数B, 簿, 情報			から1	(3)			400		400					
			理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2		計	(1)	600	200	600	100	200						1700
				物, 化, 生, 地学	から2			(2)	600	200	200	100	600						
	物, 化, 生, 地学	から2		(3)	200	200		600	100	600									
	後期 3月12日	理科系	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200				900		
			[5又は6教科8科目]	から1	その他	小論文	個別学力検査							300			300		
							計	200	200	200	100	200	300				1200		
							センター試験	200	100	200	200	200						900	
			前期 2月25日	理科系	国	国語	を1	国語総合・現代文B・古典B } から2 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル) } から2 英語, 独, 仏, 中 から1 }	センター試験	200	100	200	200	200					900
地歴・公民					世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経	から1	個別学力検査(注1)		(1)	400		400			400				800
	数	数Ⅰ・数A			を1	(2)			400				400						
		数Ⅱ・数B, 簿, 情報			から1	(3)					400		400						
理	物, 化, 生, 地学	から2			計	(1)	600		100	600	200	200					1700		
	物, 化, 生, 地学	から2				(2)	600		100	200	200	600							
	物, 化, 生, 地学	から2	(3)	200		100	600	200	600										
後期 3月12日	理科系	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	小論文	センター試験	200	100	200	200	200				900			
		[5教科7科目]	から1	その他	小論文	個別学力検査							300		300				
						計	200	100	200	200	200	300				1200			

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。
 4 初等教育教員養成コースの「前期日程」, 「後期日程」とも文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの内容にも関係しません。
 (注1) 前期日程の個別学力検査は, (1) [国語, 数学], (2) [国語, 外国語], (3) [数学, 外国語] の三つの組合せから出願時に一つを選択してください。

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等															
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計						
第一類（学校教育系）	文科系 前期 2月25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文B・古典B	センター試験	200	200	200	100	200				900					
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2			数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査	400		400						800			
		数	数Ⅰ・数A	を1					計	600	200	600	100	200				1700			
			数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1					その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200					900
		理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2							個別学力検査							300			300
			物, 化, 生, 地学	から2							計	200	200	200	100	200	300				1200
	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																		
		[5又は6教科8科目]																			
	理科系 前期 2月25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文B・古典B	センター試験	200	100	200	200	200				900					
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経	から1			数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査	400		400						800			
		数	数Ⅰ・数A	を1					計	600	100	600	200	200				1700			
		数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1	その他					小論文	センター試験	200	100	200	200	200				900		
理		物, 化, 生, 地学	から2							個別学力検査							300			300	
外		英, 独, 仏, 中, 韓	から1							計	200	100	200	200	200	300				1200	
	[5教科7科目]																				

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。
4 特別支援教育教員養成コースの「前期日程」, 「後期日程」とも文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの内容にも関係しません。

学科等	区分 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
第二類 (科学文化教育系)	自然系 コース	前期 2月 25日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
			地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	個別学力検査			300	500				800
			数	数Ⅰ・数A	を1			計	200	100	500	700	200			1700
	数理系 コース	後期 3月 12日	数	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
			理	物, 化, 生, 地学	から2	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	個別学力検査			600	200			800	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5教科7科目]	から1			計	200	100	800	400	200			1700
	自然系 コース	後期 3月 12日	その他			面接	センター試験	200	100	200	200	200				900
							個別学力検査							300	300	
							計	200	100	200	200	200		300	1200	
	技術・情報系 コース	前期 2月 25日	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)		理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	センター試験	200	100	200	200	200			900
							個別学力検査			400	400				800	
							計	200	100	600	600	200			1700	
技術・情報系 コース	後期 3月 12日	その他			面接	センター試験	200	100	100	200	100				700	
						個別学力検査							500	500		
						計	200	100	100	200	100		500	1200		
社会系 コース	前期 2月 25日	国	国	を1	国	国語総合・現代文B・古典B	センター試験	200	200	200	100	200			900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2	外	英語, 独, 仏, 中	から1	個別学力検査	400			400			800	
		数	数Ⅰ・数A	を1				計	600	200	200	100	600		1700	
	後期 3月 12日	数	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1	その他	面接	センター試験	200	200	200	100	200			900	
社会系 コース	後期 3月 12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基 又は 物, 化, 生, 地学	から2 から2			個別学力検査						300	300		
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5又は6教科8科目]	から1			計	200	200	200	100	200		300	1200	

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

学科等	区分 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計		
第三類（言語 文化教育系 コース）	前期 2月 25日	国	国語	を1	国	国語総合・現代文B・古典B	センター試験	200	200	200	100	200					900	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2	外	英語, 独, 仏, 中												から1
		教	数I・数A	を1														
	後期 3月 12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2 又は から2			個別学力検査	400				400					800	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1														
			[5又は6教科8科目]															
第四類（生涯 活動教育系 コース）	前期 2月 25日	国	国語	を1	その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200					700	
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1														
		教	数I・数A, 数II・数B, 簿, 情報	から1														
	後期 3月 12日	理	物基, 化基, 生基, 地学基	から2 又は から2	その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200					700	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1														
			[5教科6科目]															
前期 2月 25日	その他			その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200					700		
後期 3月 12日	その他			その他	実技	センター試験	200	100	100	100	200					700		

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

学科等	区分 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
第四類 (生涯活動教育系)	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国	を1	国 数	国語総合・現代文B・古典B	センター試験	200	200	200	100	200				900	
			世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫・政経	から2		数学I・数学II・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)	個別学力検査	400		400						800	
			数I・数A	を1			計	600	200	600	100	200				1700	
	後期 3月 12日	理 外	数II・数B, 簿, 情報	から1	その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200				900	
			物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地学	から2 又は から2			個別学力検査						300		300		
			英, 独, 仏, 中, 韓	から1			計	200	200	200	100	200	300			1200	
第五類 (人間形成基礎系)	前期 2月 25日	[5又は6教科8科目]	国	を1	国 外	国語総合・現代文B・古典B	センター試験	200	200	200	100	200				900	
			英語, 独, 仏, 中	から1			個別学力検査	400				400			800		
							計	600	200	200	100	600			1700		
	後期 3月 12日		理 外	数II・数B, 簿, 情報	から1	その他	小論文	センター試験	200	200	200	100	200				900
				物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地学	から2 又は から2			個別学力検査						300		300	
				英, 独, 仏, 中, 韓	から1			計	200	200	200	100	200	300			1200

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	類(系)コース	科目名等	内 容	評 価
前期 日程	第 四 類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系 コ ー ス	実 技 次の①から1種目, ②から2種目, ③から1種目を選択して受験してください。 ①器械運動, 陸上競技, 水泳 ②バレーボール, バスケットボール, サッカー, テニス(ソフトテニスを除く) ③柔道, 剣道, ダンス (注意) 1 一度届け出た受験種目の変更は認めません。 2 実技検査に適する服装等(シューズは屋内用と屋外用, 防寒着), 用具(競技に必要な個人装備)及びバッグ(会場移動に必要)を各自で用意してください。 3 陸上競技用スパイクシューズとサッカー用スパイクシューズは認めません。 4 剣道の検査で使用する用具(防具・竹刀等)は, すべて大学で用意します。 5 雨天の場合には, 陸上競技, テニスの検査は体育館(板コート)で実施します。 6 万一の病気, けが等に備えて健康保険証を持参してください。	点数化 して評価

日程	類(系)コース	科目名等	内 容	評 価	
前期日程	第(生涯活動教育系)類	音楽文化系コース	<p>次の①②を受験してください。</p> <p>① コールユーブンゲンの視唱(大阪開成館発行、No.48-85から1曲を当日指定します)</p> <p>② 以下のA又はBから1種目を選択してください。</p> <p>A 演奏(声楽又は器楽) 下記より一つを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声楽: 自由曲を1曲 ・ ピアノ: L.v. Beethoven ソナタ第1番へ短調作品2の1から第27番短調作品90までの27曲より、ソナタ形式による任意の楽章を1曲 ・ ヴァイオリン: 任意のヴァイオリン協奏曲より急速楽章を1曲 ・ その他の楽器: 自由曲を1曲 <p>B 作曲 当日与えられたモチーフによるピアノ小品の作曲(試験時間は2時間)</p> <p>(注意)</p> <p>(1) ①のコールユーブンゲンについては、固定ト唱法又は移動ト唱法で歌ってください。</p> <p>(2) ② Aの演奏(声楽又は器楽)について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 受験する楽器の種類は問いません。ただし、ピアノ、電子オルガン、ティンパニ、マリimba以外の楽器は各自持参してください。 なお、電子オルガンはヤマハステージア ELS-01C 又は EL-900m、マリimbaはKOROGI1500F 又はヤマハYM-400Cを使用していただきます。 * 受験する曲の楽譜を提出してください。 なお、声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜(ピアノ伴奏付)、器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください(楽譜には氏名、高校名等、個人が特定される内容は記入しないでください)。 * 声楽以外は無伴奏で演奏してください。 なお、声楽の伴奏は大学で担当します。 * 器楽で受験する場合は、繰り返しを省略してください。 * 演奏は暗譜とします。 * 試験当日は15分間の練習時間を設けます。 <p>(3) 受験楽器と入学後開講される授業科目は必ずしも対応していません。</p> <p>(4) 実技の集合時刻、場所等については受験票送付時に通知します。</p> <p>(5) 試験当日は上履きを持参してください。</p>		
		造形芸術系コース	<p>鉛筆デッサン(石膏像を含む静物)</p> <p>(注意)</p> <p>1 試験時間は5時間です。</p> <p>2 筆記用具以外の材料・用具は、すべて大学で用意します。</p>		
後期日程	第(学校教育系)類	初等教育系コース	<p>学校教育及び初等教育に関する基本的な事項について問い、問題意識、問題解決能力、論理的な文章の表現能力、さらには将来初等教育に携わる者としての意欲・態度を総合的に評価します。</p>	点数化して評価	
		特別支援教育系コース	<p>障害のある子どもの教育に携わるための基礎となる、人とのかかわり方や人を理解する態度・姿勢、問題意識や問題解決能力等について問い、総合的に評価します。</p>		
	第(科学文化教育系)類	自然科学系コース	面接		<p>理科の基礎的知識と科学的思考力、自然科学への興味と学習意欲、及び理科の教育に対する関心と意欲などを総合的に評価します。</p>
		数理学系コース			<p>「教育」や「学び」についての関心・意欲、数学についての基本的内容の理解・思考力・表現力、数学への関心・学習意欲などを総合的に評価します。</p>
		技術・情報系コース			<p>技術的素養(情動的素養を含む)や数学的素養、教育への関心・意欲について問い、思考力、表現力等を含めて総合的に評価します。</p>
社会系コース	<p>高等学校地理歴史科及び公民科の学習を基礎にした問題について試問し、総合的に評価します。</p>				
第(生涯活動教育系)類	健康スポーツ系コース	<p>次のうちから1種目のみ選択して受験してください。</p> <p>陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、柔道、剣道、ダンス、水泳</p> <p>※ 選択する種目について、実技実績調査書の提出を求めます。高等学校在学中に競技実績がある場合は、最も評価できるものについて、三つまで、その大会名(大会のレベルは問いません)を実技実績調査書に記入し、それを証明する資料の提出を併せて求めます。</p> <p>なお、実技実績調査書及びそれを証明する資料については参考資料として取扱い、評価の対象としません。</p> <p>(注意)</p> <p>1 一度届け出た受験種目の変更は認めません。</p> <p>2 実技検査に必要な服装(防寒着を含む)、用具(剣道の防具・竹刀やスパイクシューズ等競技に必要な個人装備)及びバッグ(会場移動に必要)を各自で用意してください。</p> <p>3 陸上競技の一部の検査(トラック種目及び跳躍種目)は、全天候型グラウンドで実施します。</p> <p>4 雨天の場合には、サッカーの検査は体育館(板コート)で実施します。</p> <p>5 万一の病気、けが等に備えて健康保険証を持参してください。</p>			
人間生活系コース	小論文	<p>人間生活系コースの学問を学ぶ上で必要な基礎学力を問う問題を出題し、総合的に評価します。</p>			

日程	類 (系) コース	科目名等	内 容	評 価
後 期 日 程	第(生涯活動教育系)	音楽文化系 コ	<p>次の①②を受験してください。</p> <p>① 平成20年3月告示中学校学習指導要領に記載されている任意の歌唱共通教材1曲の弾き歌い <対象とする曲目> 「赤とんぼ」三木露風/作詞 山田耕筰/作曲, 「荒城の月」土井晩翠/作詞 滝廉太郎/作曲, 「早春賦」吉丸一昌/作詞 中田章/作曲, 「夏の思い出」江間章子/作詞 中田喜直/作曲, 「花」武島羽衣/作詞 滝廉太郎/作曲, 「花の街」江間章子/作詞 團伊玖磨/作曲, 「浜辺の歌」林古溪/作詞 成田為三/作曲</p> <p>② 以下のA又はBより1種目を選択してください。 A 演奏(声楽又は器楽) 声楽又は任意の楽器による自由曲を1曲 B 作曲 当日与えられたモチーフによるピアノ小品の作曲(試験時間は2時間)</p> <p>(注意)</p> <p>(1) ①の弾き歌いについて * 伴奏楽器は任意とします。ピアノ, ギター, アコーディオンなど, 楽器の種類は問いません。 * 使用楽譜は任意とします。原譜, 簡易伴奏譜, コード伴奏譜, 自作伴奏譜など, 形式は問いません。 なお, 出願時に使用する楽譜を提出してください(楽譜には氏名, 高校名等, 個人が特定される内容は記入しないでください)。 * 1番の歌詞のみ歌ってください。 * 楽譜を見ながら演奏しても構いません。</p> <p>(2) ②Aの演奏(声楽又は器楽)について * 受験する楽器の種類は問いません。ただし, ピアノ, 電子オルガン, ティンパニ, マリンバ以外の楽器は各自持参してください。 なお, 電子オルガンはヤマハステージア ELS-01C 又は EL-900m, マリンバは KOROGI1500F 又はヤマハ YM-400C を使用していただきます。 * 受験する曲の楽譜を提出してください。 なお, 声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜(ピアノ伴奏付), 器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください(楽譜には氏名, 高校名等, 個人が特定される内容は記入しないでください)。 * 声楽以外は無伴奏で演奏してください。 なお, 声楽の伴奏は大学で担当します。 * 器楽で受験する場合は, 繰り返しを省略してください。 * 演奏は暗譜とします。 * 試験当日は15分間の練習時間を設けます。</p> <p>(3) 受験楽器と入学後開講される授業科目は必ずしも対応していません。 (4) 実技の集合時刻, 場所等については受験票送付時に通知します。 (5) 試験当日は上履きを持参してください。</p>	点 数 化 して 評 価
		造形芸術系 コ	<p>次の①②③④の分野のうちから一つのみ選択して受験してください。</p> <p>① 絵画(鉛筆による石膏像デッサン(幾何形体を含まない)) ② 彫刻(粘土による立体表現) ③ デザイン(ポスターカラーによる平面構成) ④ 工芸(透明水彩絵具による色彩表現)</p> <p>(注意)</p> <p>1 試験時間は, すべて3時間です。 2 一度届け出た分野の変更は認めません。 3 筆記用具以外の材料・用具は, すべて大学で用意します。</p>	
	第(人間形成基礎系)	教育学系 心理学系 コ	小論文 論文や評論や図表などを題材とする問題を出題し, 読解力, 洞察力, 論理的思考力, 着想の独自性, 文章表現力などを総合的に評価します。	

【合否判定の基準】

日 程	類 (系)	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	第一類(学校教育系) 第二類(科学文化教育系) 第三類(言語文化教育系) 第四類(生涯活動教育系) 第五類(人間形成基礎系)	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース及び特別支援教育教員養成コースは, 文科系・理科系の区別なく総合点で判定します。 合格最低点での同点者は, 合格とします。
後期日程	第一類(学校教育系) 第二類(科学文化教育系) 第四類(生涯活動教育系) 第五類(人間形成基礎系)	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース及び特別支援教育教員養成コースは, 文科系・理科系の区別なく総合点で判定します。 合格最低点での同点者は, 合格とします。

法学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	配点合計		
法 学 科	昼間コース 前期 2月25日	国	国	を1	国	国語総合(近代以降の文章)・現代文B	センター試験	200	200	100	100	200		800	
							個別学力検査	200				200		400	
								計	400	200	100	100	400		1200
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫, 政経, 倫・政経	から2	外	英語, 独, 仏, 中	から1	センター試験	200				200		400
								個別学力検査	300						300
								計	500	200	100	100	200		1100
	夜間主コース	数	教I・数A, 教II・数B, 簿, 情報	から1	国	国語総合(近代以降の文章)・現代文B	センター試験	200	200	100	100	200		800	
							個別学力検査	300						300	
							計	500	200	100	100	200		1100	
		理	物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地学	から2 又は から2	その他	総合問題	センター試験	200	100			200		500	
							個別学力検査						300	300	
							計	200	100	100		200	300	800	
外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5又は6教科7科目]	から1	その他	総合問題	センター試験	200	100			200		500			
					個別学力検査						300	300			
					計	200	100	100		200	300	800			

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 ※印を付してある公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

(注) 大学入試センター試験の地歴・公民, 数学で複数の科目を受験している場合, 次の2パターンのいずれか高得点となる組合せを採用します(各科目の取扱いは、「実施教科・科目等に関する注意事項」で確認してください)。

- ① 国語1科目, 地歴・公民1科目, 外国語1科目
 ② 国語1科目, 数学1科目, 外国語1科目
 なお, 配点欄の①②は上記2パターンに対応しています。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目名等	内 容	評 価
後期日程	法 学 科 昼間コース 夜間主コース	総合問題	高等学校全般的学習を前提として, 論文・評論等を題材とし, 法学・政治学・社会学を中心とした社会科学系の学問を学ぶ上で必要な読解力, 論理的思考力, 文章表現力等をみます。 併せて英語の読解力をみる設問を含みます。	点数化して評価

【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	法 学 科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 ただし, 判定上順位を定める必要がある場合は, 個別学力検査の得点が高い者を上位者とします。
後期日程	法 学 科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 ただし, 判定上順位を定める必要がある場合は, 個別学力検査の得点が高い者を上位者とします。

経済学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等		区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計					
経済学 科	昼間 コース	前期 2月25日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	200	200	100	200		900				
				地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, ※現社, 倫, 政経, 倫・政経			から2	外	英語, 独, 仏, 中	から1	個別学力検査			400		400		800
					計			200				200	600	100	600		1700		
		夜間 主 コース	数	数Ⅰ・数A	を1	外	英語, 独, 仏, 中	から1	センター試験	200	200	200	100	200		900			
				理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報				から1	個別学力検査						400	400		
					物基, 化基, 生基, 地学基 又は 物, 化, 生, 地学				から2 から2	計	200	200	200	100	600		1300		
	昼間 コース	後期 3月12日	文科系	[5又は6教科8科目]	その他	小論文	センター試験	800	600	100	100	600		2200					
							個別学力検査						400	400					
							計	800	600	100	100	600	400	2600					
		理科系	センター試験	100	100	800	600	600		2200									
			個別学力検査						400	400									
			計	100	100	800	600	600	400	2600									
夜間 主 コース	その他	小論文	センター試験	400	400	400	300	400		1900									
			個別学力検査						400	400									
			計	400	400	400	300	400	400	2300									

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 ※印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。
 3 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等」に関する注意事項により必ず確認してください。
 4 昼間コースの「後期日程」に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの配属にも関係しません。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	学 科 等	科目名等	内 容	評 価
後期日程	経済学 科 昼間コース 夜間主コース	小論文	論文・評論等を題材とし、経済学を学ぶ上での適性をみる問題を 出題し、総合的に評価します。	点 数 化 して評価

【合否判定の基準】

日 程	学 科 等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	経済学 科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 ただし、判定上順位を定める必要がある場合は、個別学力検査の得点が高い者を上位者とします。
後期日程	経済学 科 昼間コース 夜間主コース	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点で判定します。 昼間コースは、文科系・理科系の区別なく総合点で判定します。 ただし、判定上順位を定める必要がある場合は、個別学力検査等の得点が高い者を上位者とします。

理学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	総合 問題	面接	配点 合計
数 学 科	前期 2月 25日	国	国 を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経 } から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 } から2	個別学力検査			700	350	350			1400
		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1	外	英語, 独, 仏, 中 から1	計	200	100	900	550	550			2300
物 理 学 科	前期 2月 25日	理	物, 化, 生, 地学 から2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [5教科7科目]	理	物理基礎・物理 を1 化学基礎・化学, } から1 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 } の2	個別学力検査			500	500	400			1400
				外	英語, 独, 仏, 中 から1	計	200	100	700	700	600			2300
化 学 科	前期 2月 25日			数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
				理	化学基礎・化学 を1 物理基礎・物理, } から1 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 } の2	個別学力検査			400	600	400			1400
				外	英語, 独, 仏, 中 から1	計	200	100	600	800	600			2300
生 物 学 科	前期 2月 25日			数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900
				理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, } から2 生物基礎・生物, 地学基礎・地学 } から2	個別学力検査			400	600	400			1400
				外	英語, 独, 仏, 中 から1	計	200	100	600	800	600			2300
地 球 惑 星 シ ス テ ム 学 科	前期 2月 25日					センター試験	200	100	200	200	200			900
						個別学力検査			400	600	400			1400
						計	200	100	600	800	600			2300

(備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。

2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	面接	配点合計
数学科	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1 物, 化, 生, 地学 から1 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験			200	100	200			500
						個別学力検査			500					500
						計			700	100	200			1000
物理科学科				その他	総合問題	センター試験			200	200	200			600
						個別学力検査						600		600
						計			200	200	200	600		1200
地球惑星システム学科				その他	面接	センター試験			200	200	200			600
						個別学力検査							200	200
						計			200	200	200		200	800
化学科		数	数Ⅰ・数A を1 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1 物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科5科目]	理	化学に関する論述問題を主とする	センター試験			200	200	200			600
						個別学力検査				400				400
						計			200	600	200			1000

(備考) 1 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目名等	内 容	評 価
後期日程	物理科学科	総合問題	物理（化学の基礎的内容を含む）と数学を合わせた複合問題により物理と数学の応用力をみます。 物理は「物理基礎・物理」、数学は「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、ベクトル）」の範囲から出題します。	点数化して評価
	化学科	理科	主として化学（化学基礎・化学）に関する論述問題を課し、基礎学力、科学的思考力等を評価します。	
	地球惑星システム学科	面接	地球惑星科学に関心を持った経緯、大学入学後に勉強したい内容、これからの地球惑星科学に期待すること、について5分程度で発表してもらい、それに基づいて面接を行います。 面接の結果は、地球や惑星への関心、学習意欲、科学的思考力、コミュニケーション能力等を総合的に評価します。	

【合否判定の基準】

日程	学科等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	数 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点の高い順に順位を付け合否を判定します。ただし、合格者を決定する際の合格最低点での同点者の取扱いは次のとおりとします。 個別学力検査の数学の得点の高い方を上位とし、総合点と個別学力検査の数学の得点がいずれも同点の場合については、同順位とします。 合格最下位順位と同順位者については合格とします。
	物理科学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 個別学力検査における理科2科目の得点を、「物理基礎・物理」を350点、その他の科目を150点で合計します。 合格最低点での同点者は、合格とします。
	化学科学科 生物科学科 地球惑星システム学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	数 学 科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点の高い順に順位を付け合否を判定します。ただし、合格者を決定する際の合格最低点での同点者の取扱いは、次のとおりとします。 個別学力検査の数学の得点の高い方を上位とし、総合点と個別学力検査の数学の得点がいずれも同点の場合については、同順位とします。 合格最下位順位と同順位者については、合格とします。
	物理科学科 化学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は、合格とします。
	地球惑星システム学科	大学入試センター試験及び個別学力検査等（面接）の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

医学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																																	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計																										
医 学 科	前期 2月 25日 ・ 26日	国	国 を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200	200	900																										
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経											理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	個別 学力 検査	A配点	300	1200	300	※	1800																	
		数	数Ⅰ・数A を1																				外	英語	B配点	600	600	600	※	1800									
		理	数Ⅱ・数B, } から1 簿, 情報																												その他	面接	A配点	200	100	500	1400	500	2700
		外	物, 化, 生 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1																																				
	[5教科7科目]																																						
	後期 3月 12日	国	国 を1	その他	面接	センター試験	200	100	200	200	200	200	900																										
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経											個別 学力 検査	計	400	400	400	400	400	100	100																	
		数	数Ⅰ・数A を1																				計	200	100	200	200	200	200	100	1000								
		理	数Ⅱ・数B, } から1 簿, 情報																													計	200	100	200	200	200	200	100
外		物, 化, 生 から2 英 を1	計																																				
[5教科7科目]																																							
保 健 学 科	前期 2月 25日	国		国 を1	国	国語総合(近代以降の文章)・ 現代文B	センター試験	200	200	200	100	200	900																										
		地歴・ 公民		世B, 日B, 地理B, } から2 倫・政経										外	英語, 独, 仏, 中 から1	個別 学力 検査	400	400	400	800																			
		数		数Ⅰ・数A を1																	計	600	200	200	100	600	1700												
		理	数Ⅱ・数B, } から1 簿, 情報	計																								200	100	200	200	200	200	900					
		外	物基, 化基, 生基 から2 物, 化, 生 又は から2																																計	200	100	600	200
	[5又は6教科8科目]																																						
	後期 3月 12日	国	国 を1		数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200	200	900																									
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経												外	英語, 独, 仏, 中 から1	個別 学力 検査	400	400	400	800																		
		数	数Ⅰ・数A を1	計																		200	100	600	200	600	1700												
		理	数Ⅱ・数B, } から1 簿, 情報																									計	200	100	600	200	600	1700					
外		物, 化, 生 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1	計																																200	100	600	200	600
[5教科7科目]																																							

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。
 3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。
 4 表中の医学科前期日程の「A配点」は理科重視型の配点を、「B配点」は一般型の配点を示しています。
 なお、「A配点」及び「B配点」は、受験者が予め選択するものではありません。
 5 保健学科に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの配属にも関係しません。
 6 保健学科については、文科系で受験した者と理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格者とします。

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計	
保健学科	前期 2月25日・26日	国	国語を1	国	国語総合(近代以降の文章)・現代文B	センター試験	200	200	200	100	200		900	
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 } から2	外	英語, 独, 仏, 中 から1									
		数	数I・数A を1	その他	面接									
	後期	数	数II・数B, 簿, 情報 } から1			個別学力検査	400					400	※	800
		理	物基, 化基, 生基 } から2 又は 物, 化, 生 から2			計	600	200	200	100	600			1700
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1											
		[5又は6教科8科目]												
保健学科	前期	国	国語を1	数	数学I・数学II・数学III・数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200		900	
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 } から1	外	英語, 独, 仏, 中 から1									
		数	数I・数A を1	その他	面接									
	後期	数	数II・数B, 簿, 情報 } から1			個別学力検査			400			400	※	800
		理	物, 化, 生 から2			計	200	100	600	200	600			1700
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1											
		[5教科7科目]												

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。
3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。
4 保健学科に志願する者は、文科系、理科系のいずれか一方を出願時に選択し、受験することになります。受験上の区分であり、高等学校等における文科系、理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの配属にも関係しません。
5 保健学科については、文科系で受験した者と理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格者とします。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日程	学科等	科目名等	内 容	評 価
前期日程	医 学 科	面 接	個別面接を行い、医療人としての適性について複数の面接員により評価します。	段階評価
	保 健 学 科 作業療法学専攻			
後期日程	医 学 科	面 接	個別面接を行い、勉強意欲、志向、個性、協調性、社会常識などに関する医療人としての適性を総合的に評価します。	点数化して評価

【合否判定の基準】

日程	学科等	合否を判定する基準
前期日程	医学科	<p>※ 2段階選抜 前期日程のみ、志願倍率が10倍を超える場合には、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を実施することがあります。 第1段階選抜を行う場合は、【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄に掲げる大学入試センター試験の各教科・科目の配点合計(900点満点)により行い、合計点の上位から合格とします。</p> <p>大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点並びに個別学力検査等(面接)の評価で合否を判定し、下記(注)の場合を除いて総合点の上位から順次合格とします。 合格者の決定は、まず「A配点」(理科重視型)を用いて募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)の合格者を決定し、次に「B配点」(一般型)を用いて残りの合格者を決定します。 それぞれの合格者を決定する際の合格最低点での同点者の取扱いは次のとおりとします。 ・「A配点」(理科重視型)では、個別学力検査の理科の得点が高い者、さらに同点の場合はセンター試験の理科の得点が高い者、さらに同点の場合は、個別学力検査の外国語の得点が高い者を合格とします。 ・「B配点」(一般型)では、個別学力検査の合計点が高い者、さらに同点の場合は、個別学力検査における外国語の得点が高い者、さらに同点の場合は個別学力検査における理科の得点が高い者を合格とします。 面接は複数の面接員で医療人としての適性を評価し、A(入学させてもよい)、B(入学させたくない)の2段階評価を行います。</p> <p>(注)総合点の順位に関係なく不合格とする場合 ・個別学力検査のいずれかの科目の得点が、学科受験者の平均点の60%に満たない場合 ・面接員全員がB(入学させたくない)と評価した場合</p>
	保健学科 看護学専攻 理学療法学専攻	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で合否を判定します。 個別学力検査のいずれかの科目の得点が、各専攻受験者の平均点の60%に満たない場合は、不合格とします。 文科系及び理科系で受験した者から、専攻ごとに募集人員の約半数ずつを合格とします。 合格最低点での同点者は、合格とします。</p>
	保健学科 作業療法学専攻	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点並びに個別学力検査等(面接)の評価で合否を判定し、下記(注)の場合を除いて総合点の上位から順次合格とします。 文科系及び理科系で受験した者から、募集人員の約半数ずつを合格とします。 合格最低点での同点者は、合格とします。 面接は複数の面接員で医療人としての適性を評価し、A(入学させてもよい)、B(入学させたくない)の2段階評価を行います。</p> <p>(注)総合点の順位に関係なく不合格とする場合 ・個別学力検査のいずれかの科目の得点が、専攻受験者の平均点の60%に満たない場合 ・面接員全員がB(入学させたくない)と評価した場合</p>
後期日程	医学科	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査等(面接)の総合点(以下総合点)で判定し、下記(注)の場合を除いて総合点の上位から順次合格とします。 合格最低点での同点者は、個別学力検査等(面接)の得点が高い者、さらに同点の場合は大学入試センター試験における外国語の得点が高い者、さらに同点の場合は大学入試センター試験における理科の得点が高い者を合格とします。 面接試験(個別面接)において、複数の面接員が、A(是非入学させたい)、B(できれば入学させたい)、C(できれば入学させたくない)、D(入学させたくない)の4段階評価を行い、評価Aを25点、評価Bを20点、評価Cを5点、評価Dを0点にそれぞれ換算し、面接員の合計点をもって個別学力検査等(面接)の得点とします。</p> <p>(注)総合点の順位に関係なく不合格とする場合 ・大学入試センター試験のいずれかの科目の得点が、学科受験者の平均点の60%に満たない場合 ・面接点が25点以下の場合</p>

歯学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計				
歯学	前期 2月25日・26日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200			900			
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	個別学力検査			400	400	400		※	1200			
		数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	を1 から1	外 その他	英語, 独, 仏, 中 面接	計	200	100	600	600	600			2100			
歯学	後期 3月12日・13日	理	物, 化, 生	から2	その他	小論文	センター試験	200	100	200	200	200			900			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5教科7科目]	から1	その他	面接	個別学力検査						450	300	750			
		計					計	200	100	200	200	200	450	300	1650			
口腔保健専攻	前期 2月25日・26日	国	国	を1	国	国語総合(近代以降の文章)・ 現代文B	センター試験(注2)	① ② ③	200	200	100	100	200			800		
		地歴・公民(注1)	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1 又は2	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B(数列, ベクトル)			から1	(1)	200	200	100	100	200			600
		数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物					から1	(2)			200			
理(注1)	物基, 化基, 生基 物, 化, 生	から2 又は1又は2	外 その他	英語, 独, 仏, 中 面接	から1	(3)	① ② ③	400 400 400			200 200 100	100 100 100	100 100 200	400 400 400	200 200 200		1400	
外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5又は6教科6又は7科目]	から1	計		(2)	① ② ③	200 200 200	200 200 100	300 300 300	100 100 200	400 400 400	200 200 200						
計			(3)	① ② ③	200 200 200	200 200 100	100 100 100	300 300 400	400 400 400	200 200 200	200 200 200							
口腔工学専攻	前期 2月25日・26日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験(注4)	① ②	200 200	100 100	100 200	200 100	200 200			800		
		地歴・公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	個別学力検査				200	100	200		※	500		
		数	数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1 又は2	外 その他	英語, 独, 仏, 中 面接	計	① ②	200 200	100 100	300 400	300 200	400 400			1300		
口腔工学専攻	後期 3月12日	理	物, 化, 生	から1 又は2	その他	面接	センター試験(注4)	① ②	200 200	100 100	100 200	200 100	200 200			800		
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5教科6科目]	から1	その他	面接	個別学力検査							200	200			
		計					計	① ②	200 200	100 100	100 200	200 100	200 200			1000		

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。
 3 ※印が付してある面接は、段階評価を行います。

- (注1) 大学入試センター試験の地歴・公民と理科の科目については、以下の3パターンのいずれかを満たすように受験していることが必要です。
 ① 地歴及び公民については表中の4科目から2科目と、理科については物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目
 ② 地歴及び公民については表中の4科目から2科目と、理科については物理、化学、生物から1科目
 ③ 地歴及び公民については表中の4科目から1科目と、理科については物理、化学、生物から2科目

- (注2) 大学入試センター試験の地歴・公民、数学、理科で複数の科目を受験している場合、次の3パターンのいずれかで、最も高得点となる組合せを採用します(各科目の取扱いは、「実施教科・科目等に関する注意事項」で確認してください)。
 ① 国語1科目、地歴・公民2科目、数学1科目、理科2科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎から)、外国語1科目
 ② 国語1科目、地歴・公民2科目、数学1科目、理科1科目(物理、化学、生物から)、外国語1科目
 ③ 国語1科目、地歴・公民1科目、数学1科目、理科2科目(物理、化学、生物から)、外国語1科目
 なお、配点欄の①②③は上記3パターンに対応しています。
- (注3) 前期日程の個別学力検査は、(1)[国語、外国語]、(2)[数学、外国語]、(3)[理科、外国語]の三つの組合せから出願時に一つを選択して、志願票及び受験票に記入してください。なお、「面接」は志願票等に記入する欄がありません。
- (注4) 大学入試センター試験の地歴・公民、数学、理科で複数の科目を受験している場合、次の2パターンいずれかで、最も高得点となる組合せを採用します(各科目の取扱いは、「実施教科・科目等に関する注意事項」で確認してください)。
 ① 国語1科目、地歴・公民1科目、数学1科目、理科2科目、外国語1科目
 ② 国語1科目、地歴・公民1科目、数学2科目、理科1科目、外国語1科目
 なお、配点欄の①②は上記2パターンに対応しています。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	学 科 等	科目名等	内 容	評 価
前 期 日 程	歯 学 科	面 接	歯科医学・医療や生命科学への関心、学習意欲、医療人として必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力などを総合的に評価します。	段階評価
	口腔健康科学科 口腔保健学専攻		学習意欲、探求心、医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力及び社会常識等について総合的に評価します。	点数化して評価
	口腔健康科学科 口腔工学専攻		学習意欲、探求心、医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力及び社会常識等について総合的に評価します。	段階評価
後 期 日 程	歯 学 科	小論文	1問あるいは2問の設問に対して小論文を作成します。 日本語の表現能力を含む高校生としての基礎学力、論理的な思考力、豊かな感性に加え、歯科医師あるいは歯科医学の研究者・教育者に必要な、全人的なものの見方、倫理観などを総合的に評価します。	点数化して評価
		面 接	歯科医学・医療や生命科学への関心、学習意欲、医療人として必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力などを総合的に評価します。	
	口腔健康科学科 口腔工学専攻	面 接	学習意欲、探求心、医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性、問題解決能力及び社会常識等について総合的に評価します。	

【合否判定の基準】

日 程	学 科 等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前 期 日 程	歯 学 科	大学入試センター試験と個別学力検査の総合点で順位をつけます。 同点の場合は、個別学力検査の合計点の高い順、さらに同点の場合は、個別学力検査のうち、外国語の得点の高い順、さらに同点の場合は、個別学力検査等(面接)の評価を加味して順位をつけます。 なお、個別学力検査等(面接)においては、複数の面接員で歯科医療人としての適性を評価し、最終的にA(受入可)、B(受入不可)の評価を決定します。Bの場合は、大学入試センター試験と個別学力検査の総合点に関わらず不合格となります。
	口腔健康科学科 口腔保健学専攻	大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点で順位をつけます。 合格最低点での同点者は合格とします。
	口腔健康科学科 口腔工学専攻	大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点で順位をつけます。 合格最低点での同点者は合格とします。 なお、個別学力検査等(面接)においては、複数の面接員で歯科医療人としての適性を評価し、最終的にA(受入可)、B(受入不可)の評価を決定します。Bの場合は、大学入試センター試験と個別学力検査の総合点に関わらず不合格となります。
後 期 日 程	歯 学 科	大学入試センター試験と個別学力検査等(小論文及び面接)の総合点で順位をつけます。 同点の場合は個別学力検査等の合計点の高い順、さらに同点の場合は個別学力検査等のうち、小論文の得点の高い順とします。
	口腔健康科学科 口腔工学専攻	大学入試センター試験と個別学力検査等(面接)の総合点で順位をつけます。 合格最低点での同点者は合格とします。

薬学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計	
薬学 科学 科	前期 2月 25日	国	国	を1	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200	900
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経	から1	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物							
		数	数Ⅰ・数A	を1	外	英語, 独, 仏, 中	から1	個別学力検査		400	400	400	1200
			数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1									
理	物, 化, 生	から2											
	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1										
		[5教科7科目]											
						計	200	100	600	600	600	2100	

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【合否判定の基準】

日程	学科等	合否を判定する基準
前期日程	薬学 薬科学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 個別学力検査のいずれかの科目の得点が、学科受験者の平均点の60%に満たない場合は、不合格とします。 合格最低点での同点者は、合格とします。

工学部

【実施教科・科目及び配点等】

類 (系)	区分・ 日程	大学入試センター試験 の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計		
第一類(機械システム工学系)	前期 2月 25日	国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル) 物理基礎・物理, 化学基礎・化学 英語, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200		900		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			600	600	400		1600	
		教	数Ⅰ・数A を1			から1		計	200	100	800	800	600		2500
		理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報 }から1												
外	物 を1 化 を1 英, 独, 仏, 中, 韓 から1	[5教科7科目]													
第二類(電気・電子・システム・情報系)		国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル) 物理基礎・物理, 化学基礎・化学 英語, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200		900		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			500	500	500		1500	
		教	数Ⅰ・数A を1			から1		計	200	100	700	700	700		2400
		理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報 }から1												
外	物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1	[5教科7科目]													
第三類(化学・バイオプロセス系)		国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル) 物理基礎・物理, 化学基礎・化学 英語, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200		900		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			400	400	400		1200	
		教	数Ⅰ・数A を1			から1		計	200	100	600	600	600		2100
		理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報 }から1												
外	物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1	[5教科7科目]													
第四類(建設・環境系)		国	国を1	数 理 外	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列,ベクトル) 物理基礎・物理, 化学基礎・化学 英語, 独, 仏, 中	センター試験	200	100	200	200	200		900		
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 倫・政経 }から1			を2	個別学力検査			400	400	400		1200	
		教	数Ⅰ・数A を1			から1		計	200	100	600	600	600		2100
		理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報 }から1												
外	物, 化, 生, 地学 から2 英, 独, 仏, 中, 韓 から1	[5教科7科目]													

(備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
 2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

類(系)	区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計	
第一類(機械システム工学系)	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A	を1	その他	面接	センター試験			200	200	200		600
			数Ⅱ・数B	を1			個別学力検査						100	100
			理 物	を1			計			200	200	200	100	700
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1										
			[3教科5科目]											
第二類(電気・電子・システム・情報系)		数	国	を1			センター試験	100		400	400	400		1300
			数Ⅰ・数A	を1			個別学力検査					100	100	
			数Ⅱ・数B	を1			計	100		400	400	400	100	1400
		理 物	を1											
		外	化, 生	から1										
			[4教科6科目]											
第三類(化学・バイオ・プロセス系)		数	数Ⅰ・数A	を1			センター試験			200	200	200		600
			数Ⅱ・数B	を1			個別学力検査					100	100	
			理 物	を1			計			200	200	200	100	700
		外	化, 生	から1										
			[3教科5科目]											
第四類(建設・環境系)							センター試験			200	200	200		600
							個別学力検査					100	100	
							計			200	200	200	100	700

- (備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。
2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	類 (系)	科目名等	内 容	評 価
後期日程	第 一 類 (機械システム工学系)	面 接	機械工学に対する意欲・志向について質問し、その応答から個性の豊かさ・適性などについて総合的に評価します。	点 数 化 し て 評 価
	第 二 類 (電気・電子・システム・情報系)		科学技術への関心や論理的思考力、学習意欲、適性などに関して総合的に評価します。	
	第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系)		勉学に対する意欲・志向についての質問、並びに数学、化学の簡単な口頭試問を行い、科学的思考力、対応の仕方・態度を通して総合的に評価します。	
	第 四 類 (建設・環境系)		数学、理科、外国語(英語)を含む簡単な質問を行い、論理的思考力、説明能力、適性などを総合的に評価します。	

【合否判定の基準】

日 程	類 (系)	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	第 一 類 (機械システム工学系)	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	第 二 類 (電気・電子・システム・情報系)	
	第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系)	
	第 四 類 (建設・環境系)	
後期日程	第 一 類 (機械システム工学系)	大学入試センター試験及び個別学力検査等(面接)の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
	第 二 類 (電気・電子・システム・情報系)	
	第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系)	
	第 四 類 (建設・環境系)	

生物生産学部

【実施教科・科目及び配点等】

学科等	区分・ 日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計			
生物 生産 学科	前期 2月 25日	国	国	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B(数列, ベクトル)	センター試験	200	100	200	200	200		900			
		地歴・ 公民	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫・政経				理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学	個別学力検査			400	400	200		1000
		数	数Ⅰ・数A							外	英語, 独, 仏, 中	計	200	100	600	600
	後期 3月 12日	理	物, 化, 生, 地学	その他	面接	センター試験	200	100	200				200	200		900
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 [5教科7科目]	個別学力検査										300	300		
	計	200					100	200	200	200	300	1200				

(備考) 1 「倫・政経」(4単位科目)は公民として平成24年度大学入試センター試験から開設された出題科目です。

2 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目については、本要項記載の「実施教科・科目等に関する注意事項」により必ず確認してください。

【個別学力検査等の「その他」の科目等の内容】

日 程	学 科 等	科目名等	内 容	評 価
後期日程	生物生産学科	面 接	生物生産学に対する関心や志向, 問題展開力, 説明能力, 態度などを総合的に評価します。	点数化して評価

【合否判定の基準】

日 程	学 科 等	合 否 を 判 定 す る 基 準
前期日程	生物生産学科	大学入試センター試験及び個別学力検査の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。
後期日程	生物生産学科	大学入試センター試験及び個別学力検査等(面接)の総合点で判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

AO入試日程

総合評価方式

I 型 (大学入試センター試験を課さない入試)

学部	学科・類(系), コース等	出願期間	第1次選考	第1次選考 合格者発表	選考/ 最終選考	最終 合格者発表		
総合科学部	総合科学科	10月5日～9日	書類選考	10月28日	11月14日	11月27日		
教育学部	第二類 (科学文化教育系)				数理系コース			
	第三類 (言語文化教育系)				国語文化系コース			
					英語文化系コース			
					日本語教育系コース			
	第四類 (生涯活動教育系)				健康スポーツ系コース			
					人間生活系コース			
音楽文化系コース 造形芸術系コース								
理学部	数学科				-		-	11月20日 11月19日・20日
	物理科学科				-		-	
	化学科	一般型	書類選考	10月28日				
		(化学グランプリ利用)						
	生物科学科	一般型	11月19日・20日					
		科学オリンピック型		8月31日～9月4日	書類選考	9月24日		
地球惑星システム学科	一般型	11月19日・20日						
	(日本地学オリンピック利用)		10月5日～9日	-	-	11月20日	11月27日	
工学部	第四類(建設・環境系)				11月19日・20日			

II 型 (大学入試センター試験を課す入試)

学部	学科・類(系), コース等	出願期間	第1次選考	第1次選考 合格者発表	選考/ 第2次選考/ 最終選考	第2次選考 合格者発表	大学入試 センター試験	最終 合格者発表
教育学部	第一類 (学校教育系)	初等教育教員養成コース	書類選考	10月28日	11月19日・20日	11月27日	平成28年 1月16日 ・17日	平成28年 2月5日
		特別支援教育教員養成コース						
	第二類 (科学文化教育系)	自然系コース						
		技術・情報系コース						
		社会系コース						
第五類 (人間形成基礎系)	教育学系コース							
	心理学系コース							
法学部	法学科	10月5日～9日	-	-	11月19日			
経済学部	経済学科				昼間コース(A選抜)	11月19日・20日		
					昼間コース(B選抜)			
		夜間主コース						
医学部	保健学科	看護学専攻(一般型・大学院進学型)	書類選考	10月28日	11月12日・13日			
		看護学専攻(専門型)			11月19日			
		理学療法専攻(大学院進学型)			11月20日			
		作業療法専攻(大学院進学型)						
歯学部	歯学科	口腔健康科学科	9月18日	11月19日				
		口腔工学専攻						
薬学部	薬学科	10月5日～9日	書類選考	-	11月19日・20日	11月27日		
	薬科学科							
工学部	第一類(機械システム工学系)	10月5日～9日	-	-	11月19日・20日			
	第二類(電気・電子・システム・情報系)							
	第三類(化学・バイオ・プロセス系)							
生物生産学部	生物生産学科	A型(専門型)	書類選考	10月28日	11月19日			
		B型(研究者養成型)						
		C型(一般型)						

III 型 (ゼミナール(授業)への出席を課す入試)

学部	学科・類(系), コース等	出願期間	第1次選考	第1次選考 合格者発表	最終選考	最終 合格者発表
文学部	人文学科	8月4日～10日	8月29日	9月7日	9月26日	10月6日

AO入試日程

対象別評価方式（帰国生入試，社会人入試）

種 類	募 集 学 部 ・ 学 科 等			出 願 期 間	選 考 日	合 格 者 発 表
帰国生入試	総合科学部	総合科学科		10月5日～9日	11月14日	11月27日
社会人入試	法学部	法学科	夜間主コース		11月19日	
	経済学部	経済学科	夜間主コース			

フェニックス方式 <中高年者を対象とした入学制度>

募 集 学 部 ・ 学 科 等			出 願 期 間	選 考 日	合 格 者 発 表	
総合科学部	総合科学科		10月5日～9日	11月14日	11月27日	
文学部	人文学科			11月19日		
法学部	法学科	夜間主コース				
経済学部	経済学科	夜間主コース				
生物生産学部	生物生産学科					
教育学部	第二類 (科学文化教育系)	技術・情報系コース		11月19日・20日		
		第三類 (言語文化教育系)				国語文化系コース
						英語文化系コース
	日本語教育系コース					
	第四類 (生涯活動教育系)	健康スポーツ系コース				
		人間生活系コース				
音楽文化系コース						

※ AO入試の詳細は、各学生募集要項(WEB版又は製本版)で確認してください。

私費外国人留学生入試日程

募集学部・学科等	募集人員	出 願 期 間 (インターネット出願のみ)	選 考 日 (募集学部・学科等により異なります)	合 格 者 発 表
全学部 (法学部法学科夜間主コース, 経済学部経済学科夜間主コース及び歯学部歯学科後期日程を除く)	若干名	平成28年 1月25日(月)～ 2月3日(水)	前期日程 平成28年 2月25日・26日	前期日程 平成28年3月7日
			後期日程 平成28年3月12日	後期日程 平成28年3月20日

※ 私費外国人留学生入試の詳細は、学生募集要項(WEB版のみ)で確認してください。

各学生募集要項 (WEB版) 掲載ページ http://hiroshima-u.jp/nyushi/yoko_doga/yoko
製本版の請求方法は、裏表紙裏面を参照してください。



医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」

入試日程

募集学部・学科名	出願期間 (インターネット出願のみ)	選考日※	大学入試センター試験	合格者発表
医学部医学科	平成 27 年 11 月 1 日 (日) ~ 11 月 6 日 (金)	平成 27 年 11 月 12 日 (木) 11 月 13 日 (金)	平成 28 年 1 月 16 日 (土)・ 1 月 17 日 (日)	平成 28 年 2 月 5 日 (金)

※選考日は、受験者数によって 12 日の一日で終了する場合があります。

出願資格及び選抜方法等

学部・学科名	医学部 医学科	募集人員	ふるさと枠広島県コース 18名 ふるさと枠岡山県コース 2名																														
出願資格等	<p><出願資格> (ふるさと枠広島県コース) 広島県内の高等学校又は中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者で高等学校長が下記<推薦要件> (ふるさと枠広島県コース) について責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できるもの (ふるさと枠岡山県コース) 次の①から③までのいずれかに該当し、学校長 (教育施設の長) が下記<推薦要件> (ふるさと枠岡山県コース) について責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できるもの</p> <p>① 岡山県内の高等学校又は中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 ② 岡山県以外の都道府県に所在する高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者で、出願時において本人又は保護者が岡山県内に居住しているもの ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月までに修了見込みの者で、出願時において本人又は保護者が岡山県内に居住しているもの</p> <p><推薦要件> (ふるさと枠広島県コース) 次の要件を満たす者で、推薦人数は 1 高等学校 5 名以内とする。 (1) 調査書の評定平均値が 4.3 以上かつ人物が優れていると認められる者 (2) 広島県が貸与する奨学金を受給し、かつ卒業後は広島県内で医療に従事する強い意志のある者 (ふるさと枠岡山県コース) 次の要件を満たす者で、推薦人数は 1 高等学校等 2 名以内とする。 (1) 調査書の評定平均値が 4.3 以上かつ人物が優れていると認められる者 (2) 岡山県が貸与する奨学金を受給し、かつ卒業後は岡山県内で医療に従事する強い意志のある者</p>																																
選抜方法等	<p>(1) 選抜方法 選考は出願書類 (調査書、志望理由書及び推薦書)、面接及び大学入試センター試験の得点で行います。 出願書類 (100 点満点)、面接 (200 点満点)、大学入試センター試験 (900 点満点)</p> <p>(2) 面接の内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">(ふるさと枠広島県コース)</td> <td>医療人としての適性及び地域医療への熱意と卒業後、広島県内で勤務する意欲を複数の面接員で評価します。</td> </tr> <tr> <td>(ふるさと枠岡山県コース)</td> <td>医療人としての適性及び地域医療への熱意と卒業後、岡山県内で勤務する意欲を複数の面接員で評価します。</td> </tr> </table> <p>(3) 大学入試センター試験利用教科・科目</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>配点</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>200</td> <td>国語を 1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td rowspan="2">100</td> <td>世 B, 日 B, 地理 B,</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>倫・政経 } から 1</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>100</td> <td>数 I・数 A を 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100</td> <td>数 II・数 B, 簿, 情報 から 1</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>200</td> <td>物, 化, 生 から 2</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>200</td> <td>英 を 1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>900</td> <td>(5 教科 7 科目)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 大学入試センター試験の利用については、一般入試の「大学入試センター試験について」と同様の取扱いとなります。</p>			(ふるさと枠広島県コース)	医療人としての適性及び地域医療への熱意と卒業後、広島県内で勤務する意欲を複数の面接員で評価します。	(ふるさと枠岡山県コース)	医療人としての適性及び地域医療への熱意と卒業後、岡山県内で勤務する意欲を複数の面接員で評価します。	教科	配点	科目名	国語	200	国語を 1	地理歴史	100	世 B, 日 B, 地理 B,	公民	倫・政経 } から 1	数学	100	数 I・数 A を 1		100	数 II・数 B, 簿, 情報 から 1	理科	200	物, 化, 生 から 2	外国語	200	英 を 1	計	900	(5 教科 7 科目)
(ふるさと枠広島県コース)	医療人としての適性及び地域医療への熱意と卒業後、広島県内で勤務する意欲を複数の面接員で評価します。																																
(ふるさと枠岡山県コース)	医療人としての適性及び地域医療への熱意と卒業後、岡山県内で勤務する意欲を複数の面接員で評価します。																																
教科	配点	科目名																															
国語	200	国語を 1																															
地理歴史	100	世 B, 日 B, 地理 B,																															
公民		倫・政経 } から 1																															
数学	100	数 I・数 A を 1																															
	100	数 II・数 B, 簿, 情報 から 1																															
理科	200	物, 化, 生 から 2																															
外国語	200	英 を 1																															
計	900	(5 教科 7 科目)																															

推薦入試の詳細は、平成 27 年 9 月頃に公表予定の学生募集要項 (WEB 版のみ) で確認してください。

学部・学科等のアドミッション・ポリシー

広島大学では、学生の皆さん一人ひとりに応じたよりきめ細かい学習サポートを実現し、教育の質の向上、社会からの信頼に対応するため、「HiPROSPECTS®（到達目標型教育プログラム）」を実施しています。学部・学科等の下に主専攻プログラムを設け、学位の取得を目的として、教養教育及び専門教育を全学年間に一貫的及び調和的に複合させるように編成しています。

各学部・学科等のアドミッション・ポリシーは、主専攻プログラムのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、募集単位毎に設定されています。

学部	学科・類・コース・専攻		主専攻プログラム名
総合科学部	総合科学科		総合科学プログラム
文学部	人文学科		哲学・思想文化学プログラム
			歴史学プログラム
			地理学・考古学・文化財学プログラム
			日本・中国文学語学プログラム
			欧米文学語学・言語学プログラム
教育学部	第一類（学校教育系）	初等教育教員養成コース	初等教育教員養成プログラム
		特別支援教育教員養成コース	特別支援教育教員養成プログラム
	第二類（科学文化教育系）	自然系コース	中等教育科学(理科)プログラム
		数理系コース	中等教育科学(数学)プログラム
		技術・情報系コース	中等教育科学(技術・情報)プログラム
	第三類（言語文化教育系）	社会系コース	中等教育科学(社会・地理歴史・公民)プログラム
		国語文化系コース	中等教育科学(国語)プログラム
		英語文化系コース	中等教育科学(英語)プログラム
	第四類（生涯活動教育系）	日本語教育系コース	日本語教育プログラム
		健康スポーツ系コース	健康スポーツ教育プログラム
		人間生活系コース	人間生活教育プログラム
		音楽文化系コース	音楽文化教育プログラム
		造形芸術系コース	造形芸術教育プログラム
	第五類（人間形成基礎系）	教育学系コース	教育学プログラム
		心理学系コース	心理学プログラム
法学部	法学科		公共政策プログラム
			ビジネス法務プログラム
			法政総合プログラム
経済学部	経済学科		現代経済プログラム
			経済・経営統合プログラム
理学部	数学科		数学プログラム
	物理科学科		物理学プログラム
	化学科		化学プログラム
	生物科学科		生物学プログラム
	地球惑星システム学科		地球惑星システム学プログラム
医学部	医学科		医学プログラム
	保健学科	看護学専攻	看護学プログラム
		理学療法学専攻	理学療法学プログラム
		作業療法学専攻	作業療法学プログラム
歯学部	歯学科		歯学プログラム
	口腔健康科学科	口腔保健学専攻	口腔保健学プログラム
		口腔工学専攻	口腔工学プログラム
薬学部	薬学科		薬学プログラム
	薬科学科		薬科学プログラム
工学部	第一類（機械システム工学系）		機械システム工学系プログラム
	第二類（電気・電子・システム・情報系）		電気・電子・システム・情報系プログラム
	第三類（化学・バイオ・プロセス系）	応用化学プログラム	
		化学工学プログラム	
		生物工学プログラム	
	第四類（建設・環境系）	社会基盤環境工学プログラム	
輸送機器環境工学プログラム			
生物生産学部	生物生産学科		建築プログラム
			生物圏環境学プログラム
			水産生物学プログラム
			動物生産科学プログラム
			食品科学プログラム
			分子細胞機能学プログラム

(※) 次ページ以降に掲載しているバーコードを読み取ることにより、各プログラムの次の内容が掲載されているホームページを直接閲覧できます。

- ・ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、プログラムの到達目標)、
- ・カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、
- ・プログラムの紹介と概要 ほか

なお、次の URL を入力し、該当プログラム名をクリックしての閲覧もできます。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/syusenkou/> (注：いずれの通信費も、閲覧する方の負担となります)

総合科学部

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

「学際性」「総合性」「創造性」を基本理念とし、総合科学的思考の涵養をめざす総合科学部では、以下に示す教育を行います。

1. 複数の学問分野にまたがる学際的領域にたいする知的関心を喚起する
2. 新たな学問分野の創造をめざす知的活動をうながす
3. 新しい知的状況に対応できる自主的・自立的な人間を養成する
4. 国際社会で活躍できる意欲あふれた人材を養成する

(2) 教育プログラム

① 教育目的

上記の理念を実現するために、以下の能力を育成することを教育目的とします。

1. 複数の学問分野が、現代の諸問題とどのように関連しているのかを理解できる能力
2. 多岐にわたる情報の分析を通して、それらの持つ意味や価値をみいだす能力
3. 様々な問題の総合的解決に向けて、自己の責任において判断し、行動できる能力
4. 異文化や他の学問分野を理解し、積極的にコミュニケーションを図り、プレゼンテーションを行う能力

② 教育課程の特色

1 年次には、「総合科学へのいざない」「総合科学概論」を履修し、総合科学的思考の基本姿勢を育みます。総合科学部では、学問を体系的に学ぶために、3つの「教育領域(人間探究領域、自然探究領域、社会探究領域)」を設けています。2年次に1つの教育領域を選択し、その中の授業を中心に学習を進め専門性を深めます。また同時に、他の教育領域の授業も履修することで、学際的・総合的な知識や方法論、視座を修得します。教育領域内の授業とは別に、「学際科目」及び「専門共通科目」があります。学際科目では、学際性を有した研究テーマや分析手法などを具体的に学びます。また、専門共通科目では、実践的外国語運用能力を高めるとともに、科学リテラシーや研究倫理についての理解を深めます。

(3) 求める学生像

総合科学部では、次のような学生を求めています。

1. 基礎的学力を幅広く身につけ、既存の学問分野の枠を超えて、より広い視野で世界をみようと考えている人
2. 知的好奇心に満ち、自ら問題を発見し、その問題の背景を理解し、問題解決の道を洞察しようとする意欲を持つ人
3. 他者を理解し自己を表現できる能力を身につけ、卒業後、地域、社会、国の境界を越えて活躍できる人

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

文科系と理科系に分けて試験を行います。幅広い基礎的学力と論理的思考力に加え、文科系では外国語能力、読解力と表現力を、理科系では自然科学的思考力を持つ学生を選抜します(配点:センター試験 900 点、個別学力検査等 1,200 点)。

【一般入試(後期日程)】

文科系と理科系に分けて試験を行います。幅広い基礎的学力と論理的思考力に加え、文科系では外国語能力と人文科学的思考力を、理科系では外国語能力と自然科学的思考力を持つ学生を選抜します(配点:センター試験 900 点、個別学力検査等 600 点)。

【AO入試(総合評価方式Ⅰ型)】

幅広い基礎的学力、論理的思考力、読解力と表現力に加え、旺盛な知的好奇心を持つ学生あるいは特定分野で特に優れた能力を持つ学生を選抜します(最終選考の配点:小論文 300 点、面接 300 点)。

【AO入試(対象別評価方式 帰国生入試)】


幅広い基礎的学力、論理的思考力、読解力と表現力に加え、国際社会で活躍できる広い視野を持つ学生を選抜します(配点:小論文 300 点、面接 200 点)。

【AO入試(フェニックス方式)】

読解力、論理的思考力と表現力に加え、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ学生を選抜します(配点:小論文 300 点、面接 200 点)。

【私費外国人留学生入試】

一般入試(前期日程・後期日程)で実施する個別学力検査等の結果に、「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」を加え、基礎的学力、英語能力と日本語能力を持つ学生を選抜します。

学科・プログラム	バーコード
総合科学科 【総合科学プログラム】	

文学部

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

広島大学文学部の教育理念は、主として人文科学の分野における幅広い基礎学力と専門知識を有し、鋭い感性と客観的視点に基づいて現代社会を的確に見据え、その発展に貢献できる人間性豊かな個性的人材を養成することです。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

文学部は、人間、文化、歴史、それらを取り巻く環境について広く深く考察し、現実の課題に応えうる新しい知の探究に努めています。文学部の教育目的は、人文学的教養と総合的な人間力を身につけ、専門職業人や研究者として、ローカルにも、グローバルにも活躍できる人材を育成することにあります。

② 教育課程の特色

文学部には哲学・思想文化学、歴史学、地理学・考古学・文化財学、日本・中国文学語学、欧米文学語学・言語学の5コースの下に16の専門分野があり、それぞれに独自の教育プログラムを設けています。1年次は主に教養科目を学びながら、後期には専門分野の入門講義を聴講し、2年次以降のコース選択に備えます。2年次、3年次と専門科目での学びを深め、テキストの読解力や考察力、思考力を養い、「本物の学問」を追究します。4年次の卒業論文は、これらの学びの集大成となります。

(3) 求める学生像

文学部では、個性あふれる豊かな人間性を培い、人文学における新しい知の探究を通じて、学問を究めようとする人材を育成するために、次のような資質を備えた学生を求めています。

- ・ 論理的思考力、創造力、語学力など、人文学を学ぶために必要な基礎的能力を身につけている人
- ・ 柔軟で批判的な精神を持ち、主体的に学習や研究を行う意欲のある人
- ・ 原典に基づいて、人間、文化、歴史、環境について徹底的に考察したい人
- ・ 専門性を活かして世界に羽ばたきたいという意欲を持つ人

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に国語や外国語、地理歴史、公民に高い学力を有する人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語)、個別学力検査(国語、外国語)を課します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、人文科学分野に強い関心を持つ人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語)、個別学力検査等(面接)を課します。

【AO入試(総合評価方式Ⅲ型)】

- ・ 高等学校での基礎学力を身につけ、ゼミナール開設分野において特に高い学力や能力を有する人を選抜します。
- ・ 第1次選考は、理解力や論理的思考力を問う分野別のゼミナール(授業)と総合問題、第2次選考は、面接を課します。

【AO入試(フェニックス方式)】

- ・ 50歳以上の中高年者で、専門教育を受けられる基礎学力や能力を有する人を選抜します。
- ・ 志望理由と基礎的な学力を確認するために面接を課します。

【私費外国人留学生入試】

- ・ 専門教育を受けられる高い日本語能力や学力を有する留学生を選抜します。
- ・ 日本留学試験は日本語と総合科目、TOEFL®テスト又はTOEIC®テストの受験を要します。

【第3年次編入学試験】

- ・ 3年次編入が可能な専門分野に関する基礎学力や能力を有する人を選抜します。
- ・ 専門分野別に専門科目と面接を課します。

学科・プログラム	バーコード	学科・プログラム	バーコード
人文学科 【哲学・思想文化学 プログラム】		人文学科 【日本・中国文学語学 プログラム】	
人文学科 【歴史学プログラム】		人文学科 【欧米文学語学・言語学 プログラム】	
人文学科 【地理学・考古学・文化財学 プログラム】			

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

科学技術の飛躍的進歩、高度情報化、生涯学習社会の進展、さらには急速に進行する国際化など、人間を取り巻く社会的環境の変化の中で多様化するさまざまな教育諸課題を理論と実践の統合化によって学術的・総合的に探究します。また、「学習者」の視点に立つ新しい教育諸科学の教育・研究を行い、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い社会的視野と豊かな課題探究力を有する人材の育成を目指します。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

教育学部は、教育諸問題を理論と実践の統合という視点から学際的、総合的に探究すると共に、「学習者」の視点に立つ新しい教育諸科学の教育・研究を行い、21世紀にふさわしい学校教育や学習社会づくりに貢献できる、幅広い社会的視野と豊かな課題探究力を有する指導的な人材の育成を目指します。

② 教育課程の特色

教育学部では、学生の多様なニーズに応え、卒業後の幅広い進路に対応するために、豊富な教育プログラムを提供しています。どの教育プログラムを専攻するかは、所属する類・コースにより、入学と同時に決まります。

本学部では15の教育プログラムを組織し、各プログラムで到達目標を明確に定め、そこに到達できるように、入学から卒業まで各段階で目標の到達度をチェックします。第一類の教育プログラムでは、小学校、特別支援学校の教員を専門的に養成します。また、第二類から第五類の教育プログラムでは、卒業要件単位内で中学校・高等学校の教科の一種免許状が取得できます。さらに、いずれの教育プログラムを専攻した学生に対しても、教育に関する研究者及び高度専門職業人の育成において、全国屈指の実績を誇る大学院教育学研究科への進路が開かれています。

(3) 求める学生像

教育学部では、21世紀にふさわしい学校教育の創造や生涯学習社会の構築に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、自ら考え、学ぶ意欲を持つ人
2. 広く人間の心や教育、又は初等・中等教育における各教科に強い興味・関心・情熱を持つ人
3. 自らの問題意識に基づいて、主体的に学習や研究を遂行し、物事に多面的、創造的にアプローチする人
4. 子どもを愛し、将来、教員になることを希望する人、又は大学院に進学し、研究者や専門家になることを目指す人

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、幅広い人材を対象に基礎的学力・技量等を測る試験を行います。
- ・大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目の達成度を評価するため、当該コースが指定する5教科又は6教科を課します。個別学力検査等では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量等を評価するため、当該コースが指定する2教科又は実技を課します。

【一般入試(後期日程)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、幅広い人材を対象に基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目の達成度を評価するため、当該コースが指定する5教科又は6教科を課します。個別学力検査等では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量及び適性等を評価するため、当該コースが指定する小論文、面接、実技のいずれかを課します。

【AO入試(総合評価方式Ⅰ型)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・個別試験では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量に加えて、適性・意欲・関心等を評価するため、書類審査及び当該コースが指定する小論文又は筆記試験、面接、及びコースによっては実技を課します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・個別試験では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力に加えて、適性・意欲・関心等を評価するため、書類審査及び当該コースが指定する小論文及び面接を課します。大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目について、当該コースが示す基準に達しているかを測るため3教科、5教科又は6教科を課します。

【AO入試(フェニックス入試)】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、満60歳以上の中高年者を対象に基礎的学力・技量及び適性等を測る試験を行います。
- ・試験では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量に加えて、適性・意欲・関心等を評価するため、書類審査及び当該コースが指定する小論文、面接を課します。

【私費外国人留学生入試】

- ・教育学部及び当該コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、外国人を対象に基礎的学力・技量等を測る試験を行います。
- ・大学入試センター試験を受験する場合は、高等学校で履修した教科・科目の達成度を評価するため、当該コースが指定する5教科又は6教科を課し、日本留学試験を受験する場合は、日本語能力及び英語を含む基礎学力を評価するため、当該コースが指定する科目を課すとともに、TOEFL®テスト又はTOEIC®テストを課します。個別学力検査等では、当該コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎学力又は技量等を評価するため、当該コースが指定する2教科、小論文、面接又は実技を課します。

【第3年次編入学試験】

- ・教育学部及び技術・情報系コースのアドミッション・ポリシーに沿った入学者を選抜するため、主に短期大学・高等専門学校等卒業者又は卒業見込の者を対象に基礎的学力及び適性等を測る試験を行います。
- ・試験では、コースの専門分野の学習に必要な論理的思考力等を含めた基礎的学力に加えて、関心・学習意欲等を評価するため、書類審査及び面接を行います。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

類・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース 【初等教育教員養成プログラム】	初等教育教員養成プログラムでは、小学校教員としての実践的指導力の習得に必要な幅広い基礎学力を持つとともに、子どもを愛する心と教育への情熱を持ち、問題意識が旺盛で向上心に富む学生の入学を期待しています。 特に、下記のいずれか一つ以上に該当する学生を求めています。 (1) 子どもの成長・発達に強い関心を持ち、その分野での専門性を高めることのできる意欲と能力を持つ人 (2) 小学校の諸教科等の学習が支援できる基礎的能力を身につけており、その上に得意分野を持つ人 (3) 学校行事や課外活動、社会的活動等に積極的に参加し、社会的貢献等の実績を持つ人	
第一類(学校教育系) 特別支援教育教員養成コース 【特別支援教育教員養成プログラム】	特別支援教育教員養成プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、複雑化する現代社会の中にある特別支援教育に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 特別支援学校教員として社会に貢献したいという強い信念を持ち、その実現に向けて豊かな人間性と幅広い教養、専門的知識・技能を身につけようとする努力し、5領域の特別支援学校教諭免許状取得に真摯に取り組む人 (2) 特別支援教育をはじめとする幅広い事柄に対する知的好奇心に満ち、自ら問題を発見し、その問題の背景を理解し、問題解決の道を洞察しようとする意欲を持つ人 (3) 高等学校までの基礎的学力を幅広く身につけ、教育の諸課題に関する意識を持ち、論理的思考力・課題解決のための建設的な意見や企画力を有する人 (4) 他者を理解し自己を表現できる能力を身につけ、卒業後、地域・社会・国で活躍できる人	
第二類(科学文化教育系) 自然系コース 【中等教育科学(理科)プログラム】	中等教育科学(理科)プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、自然に対する豊かな感性を基盤として理科と理科教育に対する強い興味関心を有し、理科に関連する基礎的・基本的学力と表現力を身につけた次のような学生を求めます。 (1) 将来、中学校・高等学校又は生涯学習を含む理科教育の場での活躍を目指す人 (2) 将来、大学院に進学して科学教育学・科学教育方法学あるいは科学教育内容学(物理学教育、化学教育、生物学教育、地学教育)に関する研究者となることを目指す人	
第二類(科学文化教育系) 数理系コース 【中等教育科学(数学)プログラム】	中等教育科学(数学)プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、豊かな人間的教養を備えるとともに、幅広い知識・技能を活用して物事を発展的に統合的に考え、数学教育を通して社会に貢献しようとする人材の育成を目指しています。そのために、次のような学生を求めます。 (1) 高等学校までの教科内容を広く深く理解しつつも、その教科の枠にとらわれず、より広い視野で数学をはじめとする学問を学び、将来の幅広い教育活動に活かそうと考えている人 (2) 批判的に考える態度を持っており、自ら設定する問いに対して理論的・実践的な視点から考察し、得られた解決を次の問いの解決へ活用していかようとする人 (3) 自己を表現する能力、他者を理解しようとする態度を身に付けており、卒業後、地域社会あるいは国際的な社会で活躍していかようとする人	
第二類(科学文化教育系) 技術・情報系コース 【中等教育科学(技術・情報)プログラム】	中等教育科学(技術・情報)プログラムでは、幅広い基礎学力を有するとともに、人間的な資質に優れ、ものづくりと情報技術を融合させる分野に強い関心を持って挑戦できる、次のような人材を求めています。 (1) 中学校や高等学校において技術教育、情報教育、工業教育に携わる教員を目指す人 (2) 民間企業における技術者、企業内教育専門家をを目指す人 (3) 大学院に進学し、技術・情報の教育や専門科学領域に関する研究を推進する人	
第二類(科学文化教育系) 社会系コース 【中等教育科学(社会・地理歴史・公民)プログラム】	中等教育科学(社会・地理歴史・公民)プログラムでは、カリキュラム・ポリシーを理解し実践した上で、深い教養を備えた豊かな人間性を涵養すると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、国際社会にも貢献できるような人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科の教員を目指す人 (2) 上記の教員免許状を取得したうえで、さらに、学芸員、社会教育主事などの資格も取得し、生涯学習の支援・指導に携わることを目指す人 (3) 卒業後、大学院に進学するか、実社会において、中等社会系教科に関する教育・研究の専門家を目指す人 (4) 上記の目標を目指すため、地理学、歴史学、倫理学、法学、経済学などの人文・社会科学と中等社会系の社会認識教育学を中心に学問的基盤を身につけ、複雑な人文・社会現象を独創的な視点で解明し、斬新な教育方法を確立していかようという意欲を有している人 (5) 本プログラムが求めている人材の内容に関連した研究・活動などの業績・学習成果を有している人	
第三類(言語文化教育系) 国語文化系コース 【中等教育科学(国語)プログラム】	中等教育科学(国語)プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、次のような学生を求めています。 (1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、自ら考え、学ぶ意欲を持つ人 (2) 自らの問題意識に基づいて、主体的に学習や研究を遂行し、物事に多面的、創造的にアプローチする人 (3) 国語文化とその教育に高い関心と意欲がある人	

類・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
第三類(言語文化教育系) 英語文化系コース 【中等教育科学(英語)プログラム】	中等教育科学(英語)プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、グローバル社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 高等学校までの基礎的・基本的な学力を幅広く身につけた人 (2) 英語を的確に理解でき、適切に運用できる一定程度の英語コミュニケーション能力を身につけている人 (3) 既存の学問分野の枠を越えて、より広い視野で世界や日本を見ようとする人 (4) 自らの問題意識に基づいて主体的に学び、論理的に表現できる人 (5) 中等教育の英語科教員を目指す人、また、広く英語を用いてグローバル社会に貢献しようとする人	
第三類(言語文化教育系) 日本語教育系コース 【日本語教育プログラム】	日本語教育プログラムでは、カリキュラム・ポリシーにもとづく教育課程を履修できる人材として、次のような学生を求めます。 (1) 日本語を的確に理解し、適切に運用できる人 (2) 自分の頭で考え、自分のことばで語り、主体的にコミュニケーションできる人 (3) 日本語だけでなく外国語に対して深い関心と高い能力がある人 (4) 異文化交流の経験を持ち、異文化に対する受容・適応能力が高い人 (5) 日本語を教えることの意義をよく理解し、情熱をもって取り組むことができる人	
第四類(生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース 【健康スポーツ教育プログラム】	健康スポーツ教育プログラムでは、健康や運動・スポーツの指導や研究に強い関心と意欲をもつ人材として、次のような学生を求めています。 (1) 中学校又は高等学校の保健体育科の教員を目指す人 (2) 競技スポーツや生涯スポーツ、健康づくりの分野における指導者を目指す人 (3) 将来、大学院に進み、健康やスポーツに関する教育・研究の専門家を目指す人	
第四類(生涯活動教育系) 人間生活系コース 【人間生活教育プログラム】	人間生活教育プログラムでは、人間生活教育学、生活経営学、人間発達科学、住居学、食物学、アパレル科学など人間生活の向上・発展に貢献する専門科学の研究や教育に関心を持ち、主体的・意欲的に問題を探究できる学生、あるいはこれらを基盤にして学校教育に活かそうとする次のような学生を求めています。 (1) 中学校及び高等学校の家庭科の教員をめざす人 (2) 新たな発想をもって、人間生活に関する教育的課題や学問的課題の解決について考えることのできる人 (3) 将来、大学院に進み、プロフェSSIONALとして人間生活に関する教育や専門科学の研究に携わろうとしている人	
第四類(生涯活動教育系) 音楽文化系コース 【音楽文化教育プログラム】	音楽文化教育プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識と技能を統合して問題解決を図ることができ、国際社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。 (1) 幼児から高齢者までを対象とした総合的な音楽教育に強い関心を持ち、将来、特に中・高等学校音楽科教員、あるいは生涯教育の指導者になることを希望している人 (2) 現代の多様な音楽文化の発展や教育的分野の状況に強い関心を持ち、将来、音楽文化教育・社会教育等の専門的な指導者になろうという意欲をもつ人 (3) 将来、大学院に進学して音楽教育学等の研究者、又は、器楽、声楽、作曲等の専門家となり、これらの分野の発展に貢献したい人	
第四類(生涯活動教育系) 造形芸術系コース 【造形芸術教育プログラム】	造形芸術教育プログラムでは、特に次のような学生を求めています。 (1) 中等教育における造形芸術教育に強い関心を持ち、教員をめざす意欲と能力を十分に持っている人 (2) 生涯にわたって造形芸術の活動をし続ける人々を支援する指導者として、社会に貢献することに強い希望を持っている人 (3) 造形芸術のさまざまな分野に興味を持ち、幅の広い視野を持った造形作家、デザイナー、造形芸術理論の専門家をめざしている人 (4) 将来大学院に進み、さまざまな教育の場において、より専門的な造形芸術の教育・研究に携わることをめざしている人	
第五類(人間形成基礎系) 教育学系コース 【教育学プログラム】	教育学プログラムでは、次のような人材を求めます。 (1) 教育界が抱えている多くの問題を解決しようとする志のある人 (2) 教育学を学ぶための基礎的な学力として、日本語及び外国語の読解力・表現力を有し、社会や人間、文化等に関わる高校段階までの幅広い教科の学習内容を確実に習得した人 (3) 卒業後、教職、教育行政職(公務員)、国際的な教育開発の実践家など教育科学の専門性を生かせる職業に就こうとする人、さらに博士課程後期に進学し全国の大学の教育学部の教員として「先生の先生」になろうとする人	
第五類(人間形成基礎系) 心理学系コース 【心理学プログラム】	心理学プログラムでは、カリキュラムを履修できる人材として、次のような人材を求めます。 (1) 心理学を学ぶための基礎的な学力として、日本語及び外国語の読解力・表現力、社会現象や自然・生命現象などの理解力が必要であるため、幅広い教科で十分な学力を備えている人 (2) 現代社会における、心や行動に関する問題に積極的に関心を持ち、豊かな知識と深い洞察力に基づいて主体的・独創的に探究を進め、心や行動に関する問題の解決に関わろうとする人 (3) 卒業後、心理学の専門分野をさらに深めるために大学院に進学し、研究者や高度専門職業人をめざす人	

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

法学部の教育理念は、健全な社会的関心と一定の法的素養(リーガルマインド)を備えた人材を社会に送り出すために、多様な分野で応用できる基礎力として三つの力を養成することにあります。

- ・ 幅広い視野で社会問題を発見する力
- ・ 法制度の体系的理解に基づいて問題を分析する力
- ・ 論理的思考の下で具体的解決を提案する力

この理念を実現するために、法学部では、法学・政治学・社会学分野の専門教育科目及び教養教育科目を提供するとともに、これらと有機的に関連する諸分野の科目履修を可能とし、学生の自主性を尊重しつつ、自由闊達な気風のもとに4年間一貫の学部教育を行います。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

法学部の教育プログラム(昼間コース:公共政策, ビジネス法務, 夜間主コース:法政総合)では、将来官公庁, NPO, 民間企業等において活躍することをめざす学生を対象として、法的素養に基づいて高い実務能力を発揮することができる人材を育成することを教育目的としています。具体的には次の能力を身につけることをめざします。

- ・ 幅広い視野から社会問題を発見することができる
- ・ 法制度の体系的理解に基づき、法・政治過程の動態や企業が抱える諸問題をグローバルな視点から分析することができる
- ・ 論理的思考の下で具体的解決を提案することができる

② 教育課程の特色

1年次には基盤科目や専門基礎科目を履修し、法学部提供のプログラムへと導入します。2年次には法律系及び政治・社会系基礎科目の履修や「基礎演習」(昼間コース)、一部の「専門演習」(夜間主コース)への参加を通してプログラムの到達目標を達成するための基礎固めをします。3・4年次には「専門演習」に参加するとともに、各分野の応用科目を履修し、応用能力を涵養します。4年次には「専門演習」におけるゼミ論の作成や統合科目(昼間コース)における論文作成を通して、各プログラムで身につけた知識・技能・能力を統合し、課題解決能力を育成します。

法学部の卒業要件となる124単位のうち、専門教育科目と教養教育科目の他に「自主選択枠」を設け、学生各自の関心と必要に応じて多様な科目を履修することができるようにして、学生の自主性を尊重しています。また、夜間主コースは学生の勤務実態や授業時間帯の制約など様々な制限があるため、外国語科目の要修得単位数の減、履修年次の制限の緩和、「自主選択枠」の拡大など、柔軟に履修できるように配慮しています。

(3) 求める学生像

法学部では、次のような学生を求めています。

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人
- ・ 人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備え、現実に生じている社会の諸現象にさまざまな疑問を抱き、その背景を知りたい、解決策を探ってみたいと思う人、他者の意見を聞くことができ、語り合う過程で新たなものを発見しようと思う人
- ・ 将来、官公庁、民間企業などで活躍することを希望する人、法科大学院に進学して法曹をめざす人、又は大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 大学入試センター試験(5又は6教科7科目)、個別学力試験(昼間コースは国語・外国語、夜間主コースは国語)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 大学入試センター試験(3教科3科目)、個別学力検査(総合問題)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人を選抜します。

【AO入試(対象別評価方式 社会人入試)】

- ・ 社会人として人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備えた人を選抜します。
- ・ 法学部で学んだ高度の専門的知識を持って、将来、職場や地域で活躍しようとする意欲と力を備えた学生を選抜します。

【AO入試(フェニックス入試)】

- ・ 法学部で学ぶことの意義、勉学に対する意欲、意向等について論文・評論等を題材とする小論文で評価し、併せて社会科学系の学問を学ぶ上で必要な基礎的学力をみます。




【私費外国人留学生入試】

- ・ 本学が指定する試験等及び口述試験の結果により、日本語会話能力、日本語読解力のある学生を選抜します。

【第3年次編入学試験】

- ・ 昼間コース及び夜間主コースは小論文、外国語の合計点及び口述試験の評価を総合して評価し、法学部で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向の高い人を選考します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
法学科 昼間コース 【公共政策プログラム】 【ビジネス法務プログラム】	公共政策プログラム及びビジネス法務プログラムでは、次のような学生を求めています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人 ・ 人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備え、現実に生じている社会の諸現象にさまざまな疑問を抱き、その背景を知りたい、解決策を探ってみたいと思う人、他者の意見を聞くことができ、語り合う過程で新たなものを発見しうると思う人 ・ 将来、官公庁、民間企業などで活躍することを希望する人、法科大学院に進学して法曹をめざす人、又は大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人 	 公共政策  ビジネス法務
法学科 夜間主コース 【法政総合プログラム】	法政総合プログラムでは、次のような学生を求めています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人 ・ 社会人として人間と社会への深い関心と幅広い理解力を備え、現実に生じている社会の諸現象にさまざまな疑問を抱き、その背景を知りたい、解決策を探ってみたいと思う人、他者の意見を聞くことができ、語り合う過程で新たなものを発見しうると思う人 ・ 将来、法学部で学んだ高度の専門知識をもって職場や地域社会で活躍することを希望する人、法科大学院に進学して法曹をめざす人、又は大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人 	

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

広島大学経済学部及び前身の政経学部の卒業生の多くは、現在、経済界・官界等実社会において指導的役割を担っています。これら卒業生の活躍は、政経学部設立当初からの徹底した少人数教育による「豊かな人間性」を培う教育が結実したものと自負しています。本学部では、こうした成果を踏まえ、今後も少人数教育を学部教育の柱として堅持していきます。

また、「豊かな人間性」は、異なったバックグラウンドを持つ学生同士の交流を通じても養われるとの認識のもとに、広島大学経済学部では、他の学部に先んじて多様な入試を実施しています。さらに、現在の変動の時代に即して、いかなる急激な変化にも対処し得る、基礎力ならびに応用力の修得を、教育における理念・目標としています。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

昼間コース「現代経済プログラム」は、経済理論、金融・ファイナンス、経済史、経済政策など、主に経済学に関する専門的知識を習得し、応用することによって、現代社会の様々な経済問題を発見し、解決するために必要な理論的・実証的な経済分析能力を養成することを目標とするプログラムです。

夜間主コース「経済・経営統合プログラム」は、経済学、経営学、会計学、情報科学などの社会科学の総合的な素養を習得することで、現代社会が抱える複雑な諸問題を積極的に発見し解決できる人材、幅広い分野で活躍が期待できる人材の養成を目標としています。

また、社会人を受け入れることにより、理論と実践の知的融合の場を作り出し、常に現実的な問題意識と新鮮な視点を持つ学際的・実践的な人材の養成を行います。

② 教育課程の特色

各プログラムにおいては、現実経済と対比した数学的経済モデルによる分析と現実からのフィードバックを含む学習、語学・情報リテラシー、論理的な分析能力、コミュニケーション能力の養成に重点を置いています。また、専門教育の一環として3年次以降の少人数教育に8人程度の演習と卒業論文指導を提供しており、卒業論文は必修(昼間コース)となっています。3年次の夏には実社会との接点を求める学生の要望に応えるため、さらに出口対策として企業・官庁におけるインターンシップへの参加を促しています。語学力向上のためには、TOEIC®対策の講義が2科目提供されており(昼間コース)、さらに日本企業が規模・資本と技術面での優位性を活かして海外に事業展開を行うことが多くなっている今日、学部学生の留学経験の重要性が増してきていることから、本学の各種の海外派遣プログラム(START・HUSA・AIMS等)への学生の積極的な参加を奨励しています(短期留学に対する3万円より長期の留学に対する10万円の助成金を学部の任意団体から交付しているのもその一環です)。情報リテラシー対策は、1年次の教養ゼミに始まり、主として演習・卒業論文指導において主体的に取り組むことが多く、学部内の学生用計算機室には表計算及び各種統計・計量ソフトが設置されていて、自由に使用することができる環境となっています。

(3) 求める学生像

経済学部では、卒業後、次のような分野での活躍を目指す学生を求めています。

1. 官公庁や企業での活躍を目指す学生
2. 先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す学生
3. グローバル経済の分析や予測を、数理的分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す学生
4. 地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案し、その政策実行のリーダーを目指す学生
5. 従来にない独創的な理論の構築を目指し、深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする学生

上記の各分野に共通して求められる能力や資質は、「問題発見・解決能力」及び「自己革新能力」です。基礎学力に加えて自発的・積極的に関わってきた活動歴や経験と論理的思考によって培われる能力や資質です。

また、社会のニーズに対応した様々な選抜方法により学生を受け入れています。

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 昼間コースは経済学を学ぶための基礎学力をもち、問題解決能力のある人、夜間主コースでは経済学、経営学を学ぶための基礎学力をもち、現実の経済経営問題に興味のある人を求めます。大学入試センター試験(5又は6教科8科目)、個別学力試験(昼間コースは数学・外国語、夜間主コースは外国語)により選考します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 昼間コースは経済学を学ぶための基礎学力をもち、問題解決能力のある人、夜間主コースでは経済学、経営学を学ぶための基礎学力をもち、現実の経済経営問題に興味のある人を求めます。大学入試センター試験(5又は6教科8科目)、個別学力検査等(小論文)により選考します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 昼間コースは経済学を学ぶための基礎学力を持っている人、夜間主コースは経済学、経営学を学ぶための基礎学力を持っている人を求めます。出願書類、小論文、面接、大学入試センター試験の結果を総合的に判断し選考します。

【AO入試(対象別評価方式 社会人入試)】

- ・ 社会人として培った多様な活動や経験を基にして、経済学や経営学に関する専門的知識と教養を身につけたいという強い勉強意欲と熱意をもつ人を対象とします。

小論文及び面接の総合点で選考します。

【AO入試(フェニックス入試)】

- ・ 高齢化が進む現代社会において、中高年の方が長年にわたり蓄積されてきた知識・経験を基に、経済学や経営学に関する専門的知識と教養を学ぶことによって、生涯にわたって学び続けることの意義を見出すことのできる人を対象とします。

小論文及び面接の総合点で選考します。



【私費外国人留学生入試】

- ・ 経済学部は、基礎学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、自己革新能力、学習意欲を有している人を求めます。
- ・ 本学が指定する試験等、面接及び書類審査を総合して選考します。

【第3年次編入学試験】

- ・ 経済学部は、基礎学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、自己革新能力、学習意欲を有している人を求めます。
- ・ 推薦入試は口述試験及び出願書類を、一般入試は学力試験、口述試験及び出願書類を総合して選考します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・コース・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
経済学科 昼間コース 【現代経済プログラム】	現代経済プログラムでは、卒業後、次のような分野での活躍を目指す学生を求めています。 1. 官公庁や企業での活躍を目指す学生 2. 先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す学生 3. グローバル経済の分析や予測を、数理的分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す学生 4. 地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案し、その政策実行のリーダーを目指す学生 5. 従来にない独創的な理論の構築を目指し、深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする学生	
経済学科 夜間主コース 【経済・経営統合プログラム】	経済・経営統合プログラムでは、卒業後、次のような分野での活躍を目指す学生を求めています。 1. 官公庁や企業での活躍を目指す学生 2. 先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す学生 3. グローバル経済の分析や予測を、数理的分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す学生 4. 地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案し、その政策実行のリーダーを目指す学生 5. 従来にない独創的な理論の構築を目指し、深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする学生 6. 社会人として培った多様な活動や経験を基にして、経済学や経営学に関する専門的知識と教養を身につけたいという強い勉学意欲と熱意をもつ学生 7. 経済学や経営学に関する専門的知識と教養を学ぶ事によって、生涯にわたって学び続けることの意義を見出すことのできる学生	

理学部

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

自然科学は、人間が本質的に持つ知的好奇心に根ざした学問であると共に、人類の発展や人類共通の課題解決のよりどころとなる学問です。

広島大学理学部は、総合研究大学である広島大学において、自然科学の分野で世界を先導する役割を担っています。我々はその責務を果たすため、自然の真理の探究や新たな知の創造を目指した世界トップレベルの研究と教育を展開し、その成果を通じて社会に貢献します。そのためには、秀れた人材の育成が不可欠であり、自然科学の基礎を身につけ、論理的思考や総合的判断力を持つ人材の養成を行います。そして、高い国際性を併せ持ち、研究者・技術者・教育者など様々な分野の第一線で活躍できる人材を輩出することを目指します。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

本学部の学士課程教育では、自然界に働く普遍的な法則や基本原理の解明を目指した教育研究活動を通じて、自然科学の基礎を十分に修得させ、真理探究への鋭い感性と総合的判断力を培う教育を行います。またその結果、国際性を兼ね備え、社会のさまざまな分野で活躍できる人材の養成を目指します。

卒業生の進路として、大学や国公立研究機関の研究者、企業で働く研究者や技術者、専門的な知識と技能を備えた教育者など、高度な総合的能力を持つ人材の育成に努めます。こうした人材の育成には、大学院でのさらなる教育が必要な場合が多いため、本学士課程では、大学院での先端的な研究と教育へスムーズに取り組めるよう配慮したプログラムを編成しています。

② 教育課程の特色

本学部では、広島大学の学士課程教育の根幹をなす主専攻プログラムを各学科単位で掲げ、学生の多様な興味に対応した教育を行っています。各主専攻プログラムでは、自然科学の諸分野の基礎を学ぶと共に、各分野の最先端の研究への橋渡しとなる専門的な内容も学びます。

いずれのプログラムも、基礎から発展的内容まで段階的に学べるよう配慮されたカリキュラムを備えており、受講科目は、学年の進行と共に、教養コア科目、基盤科目、専門基礎科目、専門科目と発展していきます。また実習・実験科目を多く開講すると共に、各専門分野での英語教育も行います。また、すべてのプログラムで、卒業論文の作成が必修となっています。これらを有機的に関連させた主専攻プログラムを修了することにより、学生は、自然科学の基礎を身につけ、論理的思考力や実践力を涵養し、高い国際性を兼ね備えた人材へと成長することができます。

(3) 求める学生像

理学部では、自然の真理解明のための基礎的知識、基本的手法と技術、論理的思考力を培い、幅広い科学的素養を身につけた人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、特に数学と理科に高い学力を有する人。また、語学力(英語)と発表能力にも優れた人
2. 自然界への知的好奇心に満ち、課題の発見と解決に積極的に取り組み、真理解明への探究心の旺盛な人。より高度な専門知識と技術を身につけて創造性を発揮する勉学意欲にあふれている人
3. 将来、修得した科学的素養を活かして社会において指導的役割を果たすことを目指す人。さらに大学院に進学して専門性と独創性を磨き、研究者・技術者・教育者になることを希望する人

なお、本学部を受験する人は、高等学校教育課程の以下の教科・科目を学習していることが望まれます。

学科	十分な学習が望まれる教科・科目等
数学科	数学
物理科学科	数学, 物理
化学科	化学を含む理科 2 科目
生物科学科	生物
地球惑星システム学科	理科 2 科目(必ずしも地学である必要はありません)

(4) 入学者選抜の方針

上記「求める学生像」に沿った学生を選抜することを目的とします。

【一般入試(前期日程)】

- ・ 幅広い基礎知識を身につけ、理数系科目及び外国語について十分な学力を有する人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学, 理科, 外国語)により選抜します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 大学入試センター試験(3教科4科目, 化学科は, 3教科5科目)及び個別学力検査等(数学, 総合問題, 理科, 面接など)により選抜します。
- ・ 基礎知識を幅広く身につけるとともに、専門分野への関心の高さと勉学に対する意欲のある人を選抜します。

【AO入試(総合評価方式I型)】

- ・ 十分な学力を身につけ、明確な志望動機があり、専門分野への興味と勉学に対する意欲のある人を選抜します。






【私費外国人留学生入試】

- ・ 本学が実施する一般入試(前期日程・後期日程)の個別学力検査等の結果と、「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」の結果を総合的に判断し、基礎的学力とともに、英語能力と日本語能力を持つ学生を選抜します。

【第3年次編入学試験】

- ・筆記試験、面接及び学業成績の結果、TOEIC®の成績などにより、総合的に選抜します。
- ・専門分野に関わる基礎的な学力を有するとともに、これまでに培った知識、能力を基礎として、さらなる学習に積極的に取り組むことができる人を選抜します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
数学科 【数学プログラム】	数学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 個性豊かで探究心に満ち、数学に対する勉学意欲にあふれた人 (2) 数学における基礎的な知識・思考力・センス・表現力を備えている人	
物理科学科 【物理学プログラム】	物理学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 基礎学力を備え、科学的的好奇心に富む、探究心や勉学意欲の強い人 (2) 科学的基礎知識と課題取り組みへの科学的思考法を学び、それを社会人として生かしたい人 (3) 物理科学の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨くために、将来、大学院に進学を希望する人	
化学科 【化学プログラム】	化学プログラムでは、大学において化学を学ぶために必要な基礎学力を有し、 (1) 真理を探究することの好きな人 (2) 好奇心の旺盛な人 (3) 化学の好きな人 (4) 新しいことに挑戦したい人 を求めています。	
生物科学科 【生物学プログラム】	生物学プログラムでは、大学において生物学を学ぶために必要な基礎学力を有し、 (1) 生命現象に関する課題を主体的に探究し、解決する熱意を持つ人 (2) 将来研究者あるいは高度な専門性を持つ技術者として社会で活躍することを目指す人 を求めています。 また、生物学を学ぶために必要な英語力を身につけておくことが望ましいです。	
地球惑星システム学科 【地球惑星システム学プログラム】	地球惑星システム学プログラムでは、学士課程において得た基礎知識及び専門知識から、問題発見そして解決へと導ける能力を持つ先駆者の人材の育成を目指しています。そのため、以下のような学生を求めています。 (1) 基礎学力を備え、幅広い分野の科学的的好奇心に富み、探究心や勉学意欲の強い人 (2) 地球惑星科学の分野で国際的に活躍したい人 (3) 学士課程で得られた総合的な知識・経験と論理的思考を基に技術者・教育者として活躍したい人 (4) 地球惑星システム学の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨くために、大学院に進学を希望する人	

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

医学・医療，保健，福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ，専門職となるための基礎的知識，技能，態度を習得し，さらには科学的思考力と創造性に富み，地域の医療にも関心が深く，かつ国際性豊かな人材を育成することを共通の理念としています。

(2) 教育プログラム

豊かな人間性と幅広い教養を持ち，人の命と健康を守るという使命感を持った医学，看護学，理学療法学，作業療法学領域の能力に優れた医療人を育成し，社会に貢献できる人材を送りだします。

① 教育目的

1. 豊かな人間性と幅広い教養を身につけるために，幅広い学問に触れ，多様な文化や価値観を学びます。
2. 基本的診療能力と，全人的医療の実践のために専門職としてとるべき態度を身につけます。
3. 医学・医療，保健・福祉の実践において必要となる問題抽出能力，理解・分析力，そして問題解決能力を身につけます。
4. 学術的・総合的な学問を学び，医学・医療の基礎的及び応用的な研究の発展に寄与できる柔軟な発想と創造性を身につけます。
5. 医療，保健・福祉に関わる行政制度や社会保障・医療経済の仕組み，医療に関わる法制度，及び地域医療を取り巻く社会環境について学びます。
6. 国際化・情報化に対応して，外国語によるコミュニケーション能力と豊かな情報活用能力を身につけます。
7. 以上，すべての項目について，生涯にわたって学習する習慣を身につけます。

② 教育課程の特色

1. 医学部には2つの学科(医学科，保健学科)と4つの主専攻プログラム(医学プログラム，看護学プログラム，理学療法学プログラム，作業療法学プログラム)があり，医学・医療，保健・福祉の専門職にふさわしい専門知識・技能，人間性，教養を培い，高度専門職・医療人や研究者を養成するためのプログラムを展開しています。
2. 医学部・歯学部・薬学部合同の早期体験実習や PBL チュートリアルを取り入れた合同教養ゼミを行うとともに，それぞれの学科での他職種交流プログラムを通じて，今後ますます重要となるチーム医療に対応した教育を行っています。
3. 国際交流に不可欠な英語によるコミュニケーション能力を養成し，海外協定校を活用した実習等を通じて，国際的活動を目指すグローバル人材の養成に努めるとともに，地域医療への関心と理解を促進するプログラムも実施しています。
4. それぞれの分野における研究マインドの涵養に努め，将来の大学院進学への導きを行っています。

(3) 求める学生像

医学部では，人と関わり，人の健康のために学び，働く人となる意欲と，各学科・専攻で行われる専門教育を修了するための学力と適性を備えた人を求めています。

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 社会に貢献できる医療人を目指す受験者を対象に，大学入試センター試験及び個別学力検査等により選考します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 社会に貢献できる医療人を目指す受験者を対象に，大学入試センター試験及び面接により選考します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ (医学科) 医学研究者志向をもった受験者を対象に，書類審査，小論文及び面接を行い，大学入試センター試験の結果により選考します。
- ・ (保健学科) 保健・医療・福祉の分野に強く関心を持ち，それぞれの専攻で学びたい意欲を持った受験者を対象に，書類審査，小論文及び面接を行い，大学入試センター試験の結果により選考します。





【推薦入試】

- ・ 将来広島県又は岡山県の地域医療に強い関心を持ち，地域に定着する意思を持つ受験者を対象に，書類審査及び面接を行い，大学入試センター試験の結果により選考します。

【私費外国人留学生入試】

- ・ 保健・医療・福祉の分野に関心を持ち，日本で強く学びたい意欲を持った留学生を対象に，学力試験と日本語コミュニケーションを含めた面接により選考します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・専攻・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
医学科 【医学プログラム】	医学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 人間が好きで、人の痛みに共感できる人 (2) 生命科学に深い関心がある人 (3) 客観的な理解力と判断力を持ち、積極的に行動できる人 (4) 高等学校で学習するすべての教科の学力を幅広く身につけ、特に理科や英語において高い学力を有する人 (5) 高いコミュニケーション能力を持ち、周囲の人と良好な関係を築き、協調して働くことができる人 (6) 医療を通して地域社会に貢献しようとする意欲と情熱のある人	
保健学科 看護学専攻 【看護学プログラム】	看護学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 保健医療に関心を持ち、柔軟で幅広い視野を持って広く社会に貢献することを希望する人 (2) 高等学校までの学習と経験から、幅広い基礎学力と豊かな人間性を身につけている人 (3) 社会の一員としての良識と高い倫理観・責任感を備え、他者への思いやりがある人 (4) 探究心が旺盛で、社会から積極的に学び、自己の能力を開拓する努力を惜しまない人 (5) 困難や問題に遭遇しても、冷静に、かつ前向きに対処しようとする創造性とチャレンジ精神に富む人 (6) 協調性とコミュニケーション能力に優れ、積極的に他者と助け合いながら、人生を切り開こうとする人	
保健学科 理学療法学専攻 【理学療法学プログラム】	理学療法学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 障害を持った方々の「心」を察することのできる人 (2) 何事に対しても積極的かつ意欲的に取り組み、最後までやり遂げる気持ちを持ち続ける人 (3) 他人のことに耳を傾け、豊かなコミュニケーション能力を身につけながらチームワークを図り、ともに成長しようと努力する人 (4) 得られた知識をもとに物事を科学的に捉え、将来、保健・医療・福祉の発展に尽そうという意欲を持つ人 (5) 理学療法の実践を通して社会へ貢献し、奉仕しようとする意欲に満ち溢れた人	
保健学科 作業療法学専攻 【作業療法学プログラム】	作業療法学プログラムでは、次のような学生を求めています。 (1) 作業療学分野での研究者、教育者又は行政職、あるいは国内のみならず国際的な指導的臨床実践者として、社会に貢献しようとする意欲と情熱のある人 (2) 社会の一員としての良識を持って行動する人 (3) 高いコミュニケーション能力を持ち、周囲の人と良好な関係を築き、協調して働くことができる人 (4) 積極的に学び、自己の能力を開拓する努力を惜しまない人 (5) 困難や問題に遭遇しても、冷静に、かつ前向きに対処しようとする人	

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

21世紀の歯科医療人に求められるのは、急速な生命科学の進歩を理解し、生物学的根拠に基づく個体を対象とした病因の特定と、それを標的とした予防・診断・治療を開発し実践できる人材です。広島大学歯学部では、高度な学識と医療技術、科学的探究心を身につけさせ、豊かな人間性を培った21世紀の医療分野で活躍する歯科医療人を育成します。そして、歯科医学、歯科医療、口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献し国際的に活躍できる人材を輩出します。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

歯科医学、口腔保健学、口腔工学分野のリーダーを養成し、先端的歯科医療、地域医療、口腔保健医療を推進する教育者・研究者を日本のみならず国際社会に送りだします。

② 教育課程の特色

3つの主専攻プログラム(歯学プログラム、口腔保健学プログラム、口腔工学プログラム)が協働して、生命科学に立脚し、エビデンスに基づいた歯科医療を全身との関わりの中で行うことができるバイオデンティスト(歯科医師)、患者の口腔状態を適切に管理することで全身の健康維持を図ることができるオーラルヘルスマネージャー(歯科衛生士)、置換再生医療(CAD/CAM や組織工学)を行う為の先進的な歯科医用工学技術を身につけたオーラルエンジニア(歯科技工士)を育成するために特色ある教育を実践します。

1. 基礎歯科医学教育と臨床歯科医学教育を連携させたバイオデンタル教育を実践します。
2. 英語・日本語2か国語教育を導入し、国際社会で活躍すべく歯科医療人育成教育を実践します。
3. バイオデンティスト、オーラルヘルスマネージャー、オーラルエンジニアの連携はもとより、医師を含めた医療関連職種とのチーム医療の実践教育を推進し、地域社会で活躍する歯科医療人の育成教育を実践します。
4. 海外医療支援活動を支援し、海外留学支援制度を整備するとともに、海外姉妹校との学生交流をととして、国際交流を基盤とした国際人育成教育を実践します。

(3) 求める学生像

歯学部では、入学段階において、将来医療人となるに十分な豊かな人間性を備えていると同時に、専門職医療人として高度な学識と医療技術を身につけるための科学的探究心をもち、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、国際社会で活躍する強い意志を持った学生を求めます。

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、大学で学ぶために必要な基礎学力を備える豊かな人間性を持つ受験者を対象に、筆記試験(大学入試センター試験と個別学力検査)と面接試験により入学者選抜を行います。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、大学で学ぶために必要な基礎学力と豊かな人間性を備え、将来、口腔保健学分野で活躍する意欲がある受験者を対象に、筆記試験(大学入試センター試験と個別学力検査)と面接試験により入学者選抜を行います。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学で学ぶために必要な基礎学力と豊かな人間性を備え、将来、口腔工学分野で活躍する意欲がある受験者を対象に、筆記試験(大学入試センター試験と個別学力検査)と面接試験により入学者選抜を行います。

② 実施教科・科目・配点等

- ・ 歯学科では、大学入試センター試験(5教科7科目、900点)、個別学力検査(数学、理科、外国語、1200点)及び面接により「求める学生像」にそった学生を選抜します。なお、面接試験においては複数の面接員で歯科医療人としての適正等を評価し入学の可否を決定します。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、大学入試センター試験(5又は6教科6又は7科目、800点)、個別学力検査(国語・数学・理科から1、外国語、400点)及び面接(200点)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学入試センター試験(5教科6科目、800点)、個別学力検査(数学、理科、外国語、500点)及び面接により「求める学生像」にそった学生を選抜します。なお、面接試験においては複数の面接員で歯科医療人としての適正等を評価し入学の可否を決定します。

【一般入試(後期日程)】

① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、大学で学ぶために必要な基礎学力を備え、将来バイオデンティストとして国際社会で研究者・教育者・医療者をめざす意欲あふれる豊かな人間性を備えた受験者を対象に、大学入試センター試験に加え小論文と面接試験により入学者選抜を行います。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学で学ぶために必要な基礎学力と豊かな人間性を備え、口腔工学分野で活躍する意欲がある受験者を対象に、大学入試センター試験と面接試験により入学者選抜を行います。

② 実施教科・科目・配点等

- ・ 歯学科では、大学入試センター試験(5教科7科目、900点)、小論文(450点)及び面接(300点)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。なお、小論文や面接試験においては、学習意欲や国際社会で活躍する意欲、医療人としての適正等を点数化して評価します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、大学入試センター試験(5教科6科目、800点)及び面接(200点)により「求める学生像」にそった学生を選抜します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合必ず入学することを確約できる学生を対象に入学者選抜をおこない、将来バイオデンティストとして国際社会で研究者・教育者・医療者をめざす意欲あふれる豊かな人間性を備えた学生を選抜します。

- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合必ず入学することを確約できる学生を対象に入学選抜を行い、将来、オーラルヘルスマネージャー、歯科衛生士、養護教諭をめざす意欲にあふれ、豊かな人間性を備えた学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合必ず入学することを確約できる学生を対象に入学選抜を行い、将来、オーラルエンジニア、歯科技工士、メディカルアーティストをめざす意欲にあふれ、豊かな人間性を備えた学生を選抜します。

② 実施教科・科目・配点等

- ・ 歯学科では、出願書類(200点)、小論文(500点)、面接(500点)及び大学入試センター試験(5教科7科目、900点の内、概ね合格基準点 650 点以上であることが必要)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、出願書類(200点)、小論文(500点)、面接(500点)及び大学入試センター試験(5又は6教科6又は7科目、800点の内、概ね合格基準点 500 点以上であることが必要)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、出願書類(200点)、小論文(500点)、面接(500点)及び大学入試センター試験(5教科6科目、800点の内、概ね合格基準点 500 点以上であることが必要)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。

【私費外国人留学生入試】




① 目的及び対象としている受験層

- ・ 歯学科では、大学で学ぶために必要な基礎学力・英語力を備え、歯科臨床で必要となる日本語の基礎能力に優れ、将来バイオデンティストとして国際社会で研究者・教育者・医療者をめざす意欲あふれる豊かな人間性を備えた学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔保健学専攻では、豊かな人間性を備えるとともに、大学で学ぶために必要な基礎学力・英語力・日本語力を有し、将来、口腔保健学分野で活躍する意欲がある学生を選抜します。
- ・ 口腔健康科学科口腔工学専攻では、豊かな人間性を備えるとともに、大学で学ぶために必要な基礎学力・英語力・日本語力を有し、将来、口腔工学分野で活躍する意欲がある学生を選抜します。

② 実施教科・科目・配点等

- ・ 「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」のいずれかの成績と個別学力検査、面接及び書類審査の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・専攻・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
歯学科 【歯学プログラム】	<p>歯学プログラムでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、地域社会や国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。そこで、「歯学プログラム」を履修できる人材として、次のような学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校までの基礎的学力を幅広く身につけ、既存の学問分野の枠を越えて、より広い視野で世界を見ようと考えている人 (2) 知的好奇心に満ち、自ら問題を発見し、その問題の背景を理解し、問題解決の道を洞察しようとする意欲を持つ人 (3) 入学段階で人としての豊かな感性、倫理観、協調性、相互扶助の精神にたけ、人体特に口腔や顔面に対して人一倍関心がある人 (4) 将来、歯科医療人として地域や社会のリーダーとなり、あるいは国際社会をリードする生命学者や国際医療人となり活躍することを目指す人 	
口腔健康科学科 口腔保健学専攻 【口腔保健学プログラム】	<p>口腔保健学プログラムでは、専門職医療人として高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療・口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献する人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を、幅広くきちんと身につけている人 (2) 下記のいずれかにはまる人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔健康科学分野の教育者となる熱意がある ・ チーム医療の一員として活躍する意欲がある ・ 新しい学問である「口腔健康科学」を切り拓く意欲がある (3) 将来、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔健康科学の確立と高度専門化及び体系化、あるいは国際的な口腔健康科学の教育研究拠点の構築のために活躍する歯科衛生士あるいは養護教諭になることを目指す人 	
口腔健康科学科 口腔工学専攻 【口腔工学プログラム】	<p>口腔工学プログラムでは、専門職医療人として高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療・口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献する人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を、幅広くきちんと身につけている人 (2) 下記のいずれかにはまる人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔健康科学分野の教育者となる熱意がある ・ チーム医療の一員として活躍する意欲がある ・ 新しい学問である「口腔健康科学」を切り拓く意欲がある (3) 将来、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔健康科学の確立と高度専門化及び体系化、あるいは国際的な口腔健康科学の教育研究拠点の構築のため、オーラルエンジニアとして活躍できる医療マインドを持った企業人、歯科技工士、メディカルアーティストになることを目指す人 	

薬学部

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

「人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、専門職となるための基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力と創造性を発揮し得る人材を育成すること」を学部教育の理念としています。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

上記の理念を実現するために、以下の能力を育成することを教育目標とします

- ・ 薬学部で学ぶ学問領域を科学的に理解することが出来る能力
- ・ 薬学・医療の進歩と改善を目指して、研究を遂行する意欲と問題発見・解決を行う能力
- ・ 人の命と健康な生活を守る使命感・責任感及び倫理観を有する能力
- ・ 薬学領域の様々な問題点をグローバルな視点から分析することができる能力

② 教育課程の特色

薬学部では膨大な学問領域を、専門基礎科目、専門科目に分けて体系的に学べるように工夫しています。また、実験実習を必修にしていることで、講義のみではなくより深く理解できるように配慮しています。3年次には患者志向型合宿勉強会を実施し、医療系学部として使命感、倫理観を育てています。3年次後期から卒業研究を行い、薬学研究の実践を行うことで研究マインドの育成を行っています。

(3) 求める学生像

薬学部では、次のような学生を求めています。

1. 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に数学・英語・理科(特に化学)に高い学力を有する人
2. 化学や生命科学を積極的に学ぼうとする人。医療や薬を必要とする人たちの立場を真に理解し、医療の質の向上と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人
3. 大学院に進学して最先端の創薬科学を学び、国際的にも活躍できる創薬研究者・技術者・次世代医療開発者、高度医療情報提供者、環境・衛生技術者等の職能人となることを志す人。あるいは、高度な知識と技術を身につけ、チーム医療の中で科学的観点から意見が言える専門性の高い薬剤師となることを志す人

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 幅広い基礎知識を身につけ、理数系科目及び外国語について十分な学力を有する人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学, 理科, 外国語)により選抜します。



【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 1次選考では出願書類, 最終選考では面接及び大学入試センター試験(5教科7科目で概ね700点以上)の結果を総合して、「求める学生像」にそった学生を選抜します。

【私費外国人留学生入試】

- ・ 幅広い基礎知識を身につけ、理数系科目及び外国語について十分な学力を有する人を選抜します。
- ・ 「大学入試センター試験(5教科7科目)」又は「日本留学試験及びTOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」及び個別学力検査(数学, 理科, 外国語)により選抜します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
薬学科 【薬学プログラム】	<p>薬学プログラムでは、人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力を備え優れた医療人となり得る人材を育成することを目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に数学・英語・理科(特に化学)に高い学力を有する人 (2) 医療や薬を必要とする人たちの立場を真に理解し、医療の質の向上と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人 (3) 高度な知識と技術を身につけ、チーム医療の中で科学的観点から意見が言える専門性の高い薬剤師となることを志す人 	
薬科学科 【薬科学プログラム】	<p>薬科学プログラムでは、人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力と創造性を発揮し得る人材を育成することを目指しており、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に数学・英語・理科(特に化学)に高い学力を有する人 (2) 化学や生命科学を積極的に学ぼうとする人。医薬品の創製と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人 (3) 大学院に進学して最先端の創薬科学を学び、国際的にも活躍できる創薬研究者・技術者・次世代医療開発者、高度医療情報提供者、環境・衛生技術者などの職能人となることを志す人 	

工学部

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

工学の目的は、具現化の探求です。すなわち、自然との調和の中で、社会における要請や課題を解決するための具体的方策を科学的な知識・技術に基づいて検討し、実現することです。

工学部は、工学上の学術や技術に関する教育研究を推進し、工学の目的を達成するための基礎能力・応用能力とともに社会性や自律性を備えた人材を育成して豊かな社会を作り、さらには人類の平和、発展や存続に貢献することを目的としています。特に、環境問題等の社会的課題を敏感に察知し、高度情報化等の進歩に的確に対応し、かつ、成果を内外に正しく発信できるコミュニケーション能力を備えた研究者・技術者の育成を目指しています。

(2) 教育プログラム

① 教育目的

工学部では、我が国の工学に関わる人材養成、基礎教育の場として、次に示す教育の目的・目標を定めています。

■ 工学部の教育目的

1. 工学の目的を理解させ、社会性、自立性を養うこと
2. 工学に必要な基礎的知識を習得させること
3. 工学に携わる能力を身につけさせること
4. 工学を継承、発展させる人材を育成すること

■ 工学部の教育目標

1. 人・社会・自然と工学の関わりを重視する教育の実施
2. 論理的思考力、解析・統合能力の養成
3. 確実な基礎に立つ総合力の養成
4. 広い視野、柔軟な適応力や想像力の養成、及び自己啓発・研鑽意欲の醸成
5. 高度情報化への適応
6. コミュニケーション能力の向上

② 教育課程の特色

工学部では、類制度を採用しており、第一類から第四類までの4つの類組織があり、それぞれの類の中にはいくつかの課程(プログラム)があります。

これは、初めから専門分野に分けることによる知識の細分化・断片化の弊害をなくし、進歩・発展の著しい工業化社会に対応して、広い視野と基礎学力を身につけた技術者と高いレベルの自主的研究能力をもつ人材を養成することを目的として、類制度を導入しています。

この目的を達成するために工学部では、工学に関する基礎知識を重視しつつ、専門科目の特定の狭い分野に偏らないような複合型のカリキュラムを用意しています。

学生は、入学直後は類共通の授業を受け、その後、課程(プログラム)に配属され、より専門的な教育を受けることになります。

(3) 求める学生像

工学部では、工学を培い、工学を通じて人の社会のために働く人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

1. 基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に理科や数学に高い学力を有する人
2. 工学に興味を持ち、これを学ぶことに意欲を有する人
3. 工学を通じて社会に貢献することを目標とする人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目等 [工学部のすべての類に共通]

各高等学校が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさないように履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B

理科については、物理基礎・物理、化学基礎・化学

英語については、リーディング、ライティング

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 大学教育を行う上で必要となる学力に関連して、主に高等学校等で培われる教科・科目の学力を受験者がどれだけ身につけているかを測ります。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学、理科、外国語)により、「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 大学教育を行う上で必要となる学力に関連して、主に高等学校等で培われる教科・科目の学力を受験者がどれだけ身につけているかを測ります。
- ・ 大学入試センター試験(第一類・第三類・第四類は3教科5科目、第二類は4教科6科目)及び個別学力検査等(面接)により、「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

【AO入試(総合評価方式Ⅰ型)】

- ・ 志望する類の学問領域への関心、工学部で学びたいという意欲、学ぶための必要な学力等を重視して評価します。
- ・ 出願書類、小論文試験及び面接試験を総合して、「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 志望する類の学問領域への関心、工学部で学びたいという意欲、学ぶための必要な学力等を重視して評価します。

- ・ 出願書類, 小論文試験, 面接試験及び大学入試センター試験を総合して, 「求める学生像」に沿った学生を選抜します。
- 【私費外国人留学生入試】**
- ・ 大学教育を行う上で必要となる学力を受験者(外国人留学生)がどれだけ身につけているかを測ります。
 - ・ 「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及び TOEFL®テスト又は TOEIC®テスト」のいずれか及び個別学力検査(前期日程のみ), 書類審査及び面接を総合して, 「求める学生像」に沿った学生を選抜します。
- 【第3年次編入学試験】**
- ・ 工学部の専門教育を行う上で必要となる学力を受験者がどれだけ身につけているかを測ります。
 - ・ 筆記試験(第一類のみ), 面接及び出願書類を総合して, 「求める学生像」に沿った学生を選抜します。

募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

類・プログラム	アドミッション・ポリシー	バーコード
第一類 (機械システム工学系) 【機械システム工学系プログラム】	機械システム工学系プログラムでは, 工学部共通の求める学生像に準じて, 以下のような学生を求めています。 (1) 機械システム工学を学ぶために十分な学力があり, 特に数学, 理科(物理, 化学), 英語に高い学力を有し, できれば実用英語技能検定において高い等級又は TOEIC®等において高スコアを有する人 (2) 自らの問題意識に基づいて主体的に学習し, 様々な課題に対して多面的及び創造的に取り組む人 (3) 機械システムエンジニアとして国際的な活躍を希望する人, 又は先端領域の研究者や専門家になることを希望する人	
第二類 (電気・電子・システム・情報系) 【電気・電子・システム・情報系プログラム】	電気・電子・システム・情報系プログラムでは, 電気・電子・システム・情報工学を通じて, 人と社会のために働く人材の育成を目指しています。基礎学力を身につけた人で, 特に次のような学生を求めています。 (1) 科学的現象に特に興味を持ち, これまでに深く掘り下げて学習した経験がある人 (2) モノ作りが好きで, これまでに何かを創意工夫して作った経験がある人 (3) 集積回路やコンピュータハードウェアに興味があり, これらを設計開発したいと考えている人 (4) 複雑な現象を数学的に表現・分析することに興味がある人 (5) 自分のアイデアをソフトウェアなどによって実現することに興味がある人 (6) TOEIC®, 実用英語技能検定等において好成绩を修めた優れた語学力を有しており, 第二類に関連する分野で国際的に活躍することを目指している人	
第三類 (化学・バイオ・プロセス系) 【応用化学プログラム】 【化学工学プログラム】 【生物工学プログラム】	応用化学プログラム, 化学工学プログラム, 生物工学プログラムでは, 化学・バイオ・プロセス分野の幅広い基礎学力を培い, 新技術を通じて人と社会のために働く人材の育成を目指しています。以下のような学生を求めています。 (1) 化学・物理・生物を学ぶために必要な基礎学力があり, 下記のいずれかに該当する人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源・新エネルギーの開発とその有効利用技術の開発や環境保全に携わる意欲を持つ ・ 人類の生活を豊かにする新しい機能材料や化学物質を発見・発明することに関心を持つ ・ 動植物・微生物を利用したバイオテクノロジーにより社会に貢献する意欲を持つ ・ 医薬・食品・プラスチックの製造に関わる化学装置の開発・設計に携わる意欲を持つ (2) 将来, 化学・バイオ・プロセス分野の専門知識を生かして国内・国際社会において指導的な役割を担うことを希望する人, 又は大学院に進学し化学・バイオ・プロセス分野の先進的な研究者や専門家になることを希望する人	 応用化学  化学工学  生物工学
第四類 (建設・環境系) 【社会基盤環境工学プログラム】 【輸送機器環境工学プログラム】 【建築プログラム】	社会基盤環境工学プログラム, 輸送機器環境工学プログラム及び建築プログラムでは, 高い倫理感と強い使命感とを有し, 安全, 快適で環境に優しい国土, 生活空間, 輸送機器の計画, 創造, 維持, 再生を通して, 広く社会に貢献しうる人材の育成を目指しており, 次のような学生を求めています。 (1) 高等学校での基礎的, 基本的な学力を幅広くきちんと身につけ, 特に, 理科や数学に高い学力, 能力を有する人 (2) 建築, 社会基盤, 輸送機器環境のいずれかの分野に興味を持ち, これを学ぶことに意欲を有する人 (3) 建築, 社会基盤, 輸送機器環境のいずれかの分野を通して, 社会に貢献することを目指す人	 社会基盤環境工学  輸送機器環境工学  建築

生物生産学部

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

生物生産学部は、人類の持続的生存と福祉の向上に貢献できる人材を養成するため、次の理念を基に教育・研究を行います。

- ・ 生物圏の環境保全
- ・ 環境に調和した食料の生産
- ・ 健康で豊かな食の創成
- ・ 生物資源に関わる知の創造
- ・ 地域と国際社会への貢献

(2) 教育プログラム

① 教育目的

生物生産学部は、環境と調和した持続可能な食料生産及び生物資源の活用を目指し、生物及び環境に関わる農学領域の知の継承と創造を通して教育研究を行うことにより、この領域の科学的知識と地球規模の広い視野をもって活躍し、社会に貢献し得る人材を養成することを目的とします。

② 教育課程の特色

生物生産学部には生物圏環境学、水産生物学、動物生産科学、食品科学、分子細胞機能学の5コースがあり、それぞれに独自の教育プログラムを設けています。

1年次及び2年次前期までは主に教養科目を学びながら、生物生産学入門などの「専門基礎科目」や生物生産学に関連する実験や実習などを履修します。そして、2年次後期以降のコース選択に備えます。2年次後期には、5つのコースの一つに分属され、各コースが開講する教育プログラムの下で、専門分野について、深く学びます。4年から研究室での活動が本格化し、研究成果を卒業論文として完成させます。その過程において、問題の発掘と解決の能力を養い、それを表現するプレゼンテーション能力などを身につけます。

(3) 求める学生像

生物生産学部では、環境と調和した持続可能な食料生産や生物資源の有効利用に関する教育・研究を行っています。こうした分野で深い科学的知識と広い視野をもって社会のために働く人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

- ・ 高等学校での基礎的な学力を幅広く身につけ、特に理数科目に高い学力を有する人
- ・ 食料や環境に関して問題意識が高い人
- ・ 将来、食料や環境に係わる仕事に就いて地域や国際社会で活躍する志を持つ人

(4) 入学者選抜の方針

【一般入試(前期日程)】

- ・ 高等学校等において基礎学力を幅広く身につけている人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)及び個別学力検査(数学・理科・外国語)の総合点で判定します。

【一般入試(後期日程)】

- ・ 高等学校等において基礎学力を幅広く身につけている人を選抜します。
- ・ 大学入試センター試験(5教科7科目)、及び個別学力検査(面接)の総合点で判定します。

【AO入試(総合評価方式Ⅱ型)】

- ・ 基礎的な学力を幅広く身につけた上で、以下のいずれかに該当する人を選抜します。
 - ・ 高等学校において水産、農業及び食品製造などを学び、さらにその分野を探究したい
 - ・ 理数科目が特に得意である
 - ・ 自然科学などの分野において活発な研究活動を行い、その成果を挙げた
 - ・ ボランティア、クラブ及び生徒会などの活動において積極的に活躍した
 - ・ 日本生物学オリンピックで優秀な成績を収めた
- ・ 食料や環境に関して問題意識が高く、陸や海などのフィールドで物事を創造的に探求する行動力がある人を選抜します。
- ・ 将来、食料や環境に係わる仕事に就いて地域や国際社会で活躍する志を持つ人、あるいは食料や環境の分野で大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人を選抜します。
 - ・ 第1次選考 出願書類を総合して判定します。
 - ・ 第2次選考 A型・C型…セミナーと面接の総合点で判定します。
B型…面接の点数で判定します。
 - ・ 最終選考 大学入試センター試験の得点が合格基準点以上である場合最終合格者となります。

【AO入試(フェニックス方式)】

- ・ 基礎学力を幅広く身につけており、それに加え勉学への強い意欲を持つ満50歳以上の人を選抜します。
- ・ 面接により段階評価を行い、志望理由書を含めて総合的に判定します。


【私費外国人留学生入試】

- ・ 基礎学力を幅広く身につけており、一定の日本語・英語能力を備えた日本国籍を有しない人を選抜します。
- ・ 「大学入試センター試験」又は「日本留学試験及びTOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」のいずれかの得点と個別学力検査の得点で総合的に判定します。

【第3年次編入学試験】

- ・ 出身学校において専門を学ぶのに必要な基礎学力を修得し、明確な目的意識と強い学習意欲を持つ人を選抜します。
- ・ 英語(TOEFL®テスト又はTOEIC®テストのスコア証明書)、小論文及び面接の結果から総合的に判定します。

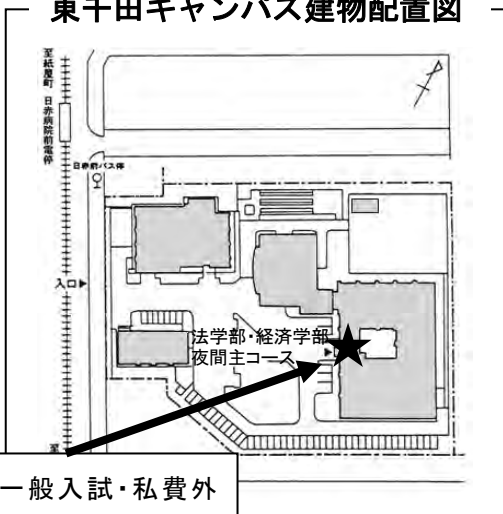
募集単位のアドミッション・ポリシー(求める学生像等)

学科・プログラム	バーコード	学科・プログラム	バーコード
生物生産学科 【生物圏環境学プログラム】		生物生産学科 【食品科学プログラム】	
生物生産学科 【水産生物科学プログラム】		生物生産学科 【分子細胞機能学プログラム】	
生物生産学科 【動物生産科学プログラム】			

広島大学位置図



東千田キャンパス建物配置図



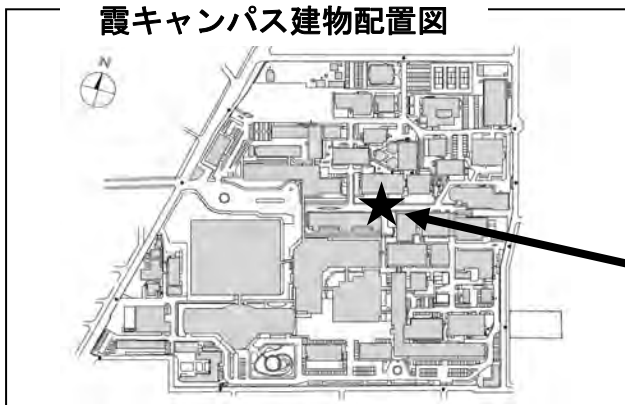
一般入試・私費外国人留学生入試
(前期・後期日程)
合格者発表掲示板
設置場所(法学部,
経済学部のみ)

東広島キャンパス建物配置図



一般入試・私費外国人留学生入試
(前期・後期日程)
合格者発表掲示板設置場所
(全学部)

霞キャンパス建物配置図



一般入試・私費外国人留学生入試
(前期・後期日程)
合格者発表掲示板設置場所
(医学部, 歯学部, 薬学部のみ)

広島大学の 情報 をより詳しく調べたい方へ

1 広島大学ホームページで調べる

広島大学ホームページのメニュー「広島大学で学びたい方へ」から「入試情報」をご覧ください。最新の入試情報、学部、学生生活に関する詳細な情報を入手することができるほか、インターネット出願もできます。



入試情報



2 広島大学が主催する説明会に参加する

受験生や保護者の方々を対象とした説明会を下記のとおり開催します。参加者には「大学案内」、「募集要項」などの資料を無料で配布します。当日は、入学センターの教員が本学の特色や学部等の教育・研究、入試の内容などの説明を行い、質問・相談に個別にお答えします。なお、※印の会場については、全学部の教員が出席し、説明・相談を担当します。

広島会場※	6月21日(日)	13:15~17:00	広島国際会議場(広島市中区中島町1-5)
岡山会場	6月28日(日)	14:00~16:00	岡山国際交流センター(岡山市北区奉還町2-2-1)
神戸会場	6月28日(日)	14:00~16:00	三宮研修センター(神戸市中央区八幡通4-2-12)
山口会場	7月19日(日)	14:00~16:00	新山口ターミナルホテル(山口市小郡下郷1292)
松山会場	7月19日(日)	14:00~16:00	松山市総合コミュニティセンター(松山市湊町7-5)
福岡会場※	7月20日(月・祝)	13:15~17:00	アクロス福岡(福岡市中央区天神1-1-1)
松江会場	7月26日(日)	14:00~16:00	松江テルサ(松江市朝日町478-18)
高松会場	7月26日(日)	14:00~16:00	サンポートホール高松(高松市サンポート2-1)

3 広島大学が出席する説明会等に参加する

業者等が主催する進学説明会に、本学入学センターの教職員が参加します。ブースでの個別相談、資料配布の他、一部の説明会ではスライド等を利用した講演を行います。全国各地の説明会に伺いますので、ぜひ広島大学のブースへお越しください。なお、詳細は本学ホームページまたは右のバーコードからご確認ください。



説明会

4 広島大学オープンキャンパス、キャンパスガイドに参加する

●オープンキャンパス

平成27年度のオープンキャンパスを右記の日程で開催します。ぜひ参加して各学部の雰囲気味わい、大学生活を「実感」してみてください。参加することによって、入学の意欲がますます高まると思います。日程の詳細は本学ホームページまたは右のバーコードからご確認ください。

開催日	会場
8月18日(火)	東広島キャンパス、霞キャンパス
8月19日(水)	東広島キャンパス、霞キャンパス、東千田キャンパス(経済学部夜間主コース)



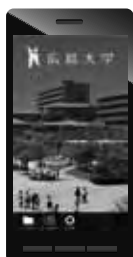
オープンキャンパス

●キャンパスガイド

学生ガイドが広島大学キャンパスの環境や施設、総合博物館やサテライト館の展示などをご案内します。毎週金曜日13:00に、本部棟(事務局棟)2階ロビーにお集まりください。事前申し込みは不要です。



キャンパスガイド



「広島大学入試アプリ」 できました!

広島大学入試アプリをダウンロードすれば、大学案内やパンフレット、紹介ムービー、最新の入試情報がいつでもスマートフォンでチェックできます。スマートフォンアプリで広島大学をもっと知ろう!



「広島大学入試LINE@」 で情報発信中!

広島大学入試LINE@アカウントを友だち登録してくださった方に、入試関連イベントのお知らせや入試情報など、高校生・受験生のみさんに役立つ情報をお届けします。LINE@で広島大学とつながろう!

世界標準

インターネット出願 Online Application

広島大学は、加速するグローバル化の中、世界標準の出願ツールであるインターネット出願を学部入試にいち早く導入しました。みなさん、広島大学へはインターネット出願で!

学生募集要項(願書)取寄せ不要
24時間出願可能

クレジットカード・コンビニエンスストアで
検定料の支払い可能




出願書類の作成がより簡単に
スマートフォン、タブレットからも利用できます!

学生募集要項等の発表時期および請求方法

学生募集要項等の種別	発表・配付開始時期
入学志願者用大学案内「広島大学で何が学べるか」	5月中旬
入学者選抜に関する要項 ※出願書類は含まれていません	6月中旬
広島大学AO入試(総合評価方式)学生募集要項 ※出願書類を含みます	
広島大学AO入試(対象別評価方式)学生募集要項 ※帰国生入試、社会人入試 ※出願書類を含みます	
広島大学AO入試(フェニックス方式)学生募集要項 ※中高年者対象入学制度 ※出願書類を含みます	
私費外国人留学生入試学生募集要項 ※インターネット出願のみ	9月上旬
医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」学生募集要項 ※インターネット出願のみ	
一般入試学生募集要項(前期日程・後期日程) ※出願書類を含みます	11月27日までに発表

※医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」および私費外国人留学生入試はインターネット出願のみの受付となります。やむをえない理由で出願が困難な方は以下の通りお問い合わせください。
医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」→医学部、私費外国人留学生入試→入学センター(連絡先は裏表紙を参照してください)

1. 広島大学のホームページから請求

大学のホームページから直接、 テレメールまたは  モバっちよによる資料請求ができます。詳しくは、広島大学ホームページ「入試情報」の  または右のバーコードからご覧ください。



資料請求

2. テレメールまたはモバっちよで請求(インターネット)



バーコード ▶

※対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。



バーコード ▶

※対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。



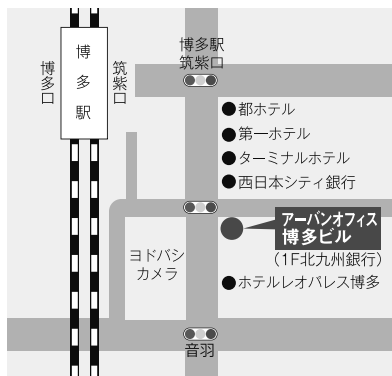
※受付開始時期、送料等については、業者や請求方法により異なる場合がありますので、詳細は各ホームページをご覧ください。

3. 広島大学の地域オフィスを利用

各オフィスでは、入試関係資料の無料配布のほか、質問や相談にも応じていますので、お気軽にお問い合わせください。

入学センター 福岡オフィス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-1
アーバンネット博多ビル4階123号
TEL・FAX/092-432-5233
Mobile/080-1632-4204
E-mail/hiroddai2@docomo.ne.jp
業務時間/火~土曜日(祝日除く)11:00~18:00



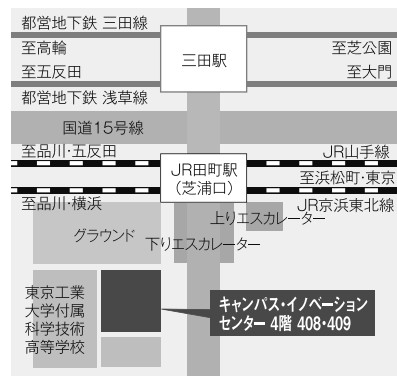
入学センター 大阪オフィス

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53
大阪大学中之島センター503号
TEL/06-6444-2112
FAX/06-6444-2114
E-mail/ncu00002@onc.osaka-u.ac.jp
業務時間/火~土曜日(祝日除く)10:30~17:30



東京オフィス

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・インベーションセンター409号
TEL/03-5440-9065 FAX/03-5440-9117
E-mail/liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp
業務時間/月~金曜日(祝日除く)
9:30~12:00、12:45~18:00





広島大学

建学の精神

自由で平和な一つの大学

大学の理念

平和を希求する精神

地域社会・国際社会との共存

新たなる知の創造

絶えざる自己変革

豊かな人間性を培う教育

[学部等照会先]

東広島キャンパス 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

総合科学部	〒739-8521	東広島市鏡山一丁目7番1号	TEL 082-424-6315
文学部	〒739-8522	東広島市鏡山一丁目2番3号	TEL 082-424-6613
教育学部	〒739-8524	東広島市鏡山一丁目1番1号	TEL 082-424-6725
法学部(昼間コース)	〒739-8525	東広島市鏡山一丁目2番1号	TEL 082-424-7215
経済学部(昼間コース)	〒739-8525	東広島市鏡山一丁目2番1号	TEL 082-424-7217
理学部	〒739-8526	東広島市鏡山一丁目3番1号	TEL 082-424-7315
工学部	〒739-8527	東広島市鏡山一丁目4番1号	TEL 082-424-7524
生物生産学部	〒739-8528	東広島市鏡山一丁目4番4号	TEL 082-424-7915

霞キャンパス 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

医学部	〒734-8553	広島市南区霞一丁目2番3号	TEL 082-257-5049
歯学部	〒734-8553	広島市南区霞一丁目2番3号	TEL 082-257-5614
薬学部	〒734-8553	広島市南区霞一丁目2番3号	TEL 082-257-5777

東千田キャンパス 受付時間 午後1時から午後9時まで(土日・祝日を除く)

法学部(夜間主コース)	〒730-0053	広島市中区東千田町一丁目1番89号	TEL 082-542-6998
経済学部(夜間主コース)	〒730-0053	広島市中区東千田町一丁目1番89号	TEL 082-542-6961

【入学センター】 〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL 082-424-6174, 4656

受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

※東広島市外からは、すべて市外局番をダイヤルしてください。

広島大学ホームページ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

広島大学入試情報(インターネット出願窓口) <http://hiroshima-u.jp/nyushi>